

---

## 第1章 計画策定の目的と位置付け

### 1—1 背景・目的

本町は富山県の東部に位置し、黒部川扇状地に広がる「農商工一体のまち」として発展してきた、人口約27,000人、世帯数約8,700の町である。

用途地域内は、住宅、商店、工場、農地等が混在している。また、住宅地の用途地域外への無秩序な市街地の拡大や民間アパートの立地等、良好な住環境の形成やコミュニティ形成上の面での課題も生じてきている。

社会動向としては、国・県と同様に本町においても、人口減少や少子高齢化の傾向が続いている。

また、中心市街地部における人口減少傾向の増大や低・未利用地の存在、民間宅地開発の停滞、新耐震基準以前の住宅の改修、空き家の利活用、老朽化が進む町営住宅等、住まい・住環境をめぐる課題が多い。

住宅施策に関しては、平成8年度に公共賃貸住宅再生マスタープラン、平成10年度に東町町営住宅再生団地計画が策定されているが、その後、総合的な住宅マスタープランは今日まで未策定となっている。

一方、我が国の住宅施策は、平成18年の住生活基本法の制定に基づき、市場重視、ストック重視の住宅政策へと大きな政策転換期を迎えている。本町においても、新たな視点での福祉・まちづくりとの連携や地域ごとの実情を踏まえたきめ細かな対応等、安心して住み続けることのできる良好な住まい・住環境の形成を図っていくことが重要になっている。

本計画は、入善町総合計画等における関連施策との連携を図りながら、住宅等の供給や住まい・住環境に関する整備目標を明確にするとともに、その具体的施策を定め、だれもが安心して住み続けられる住まい・住環境の創造に寄与することを目的とする。

### 1—2 位置付け

入善町住まい・まちづくり計画は、本町の住宅マスタープランとし、入善町総合計画を上位計画とする住宅施策の基本計画と位置づける。

本計画は、入善らしい住まいの文化の継承と発展に寄与し、住民、事業者、行政が協働して推進する、今後の入善町における住まい・まちづくりの基本的指針とする。

### 1—3 計画期間

計画期間は10年間とし、10年先を見通した目標を定めるものとする。なお、社会動向や施策の実情を踏まえ、5年を目途に進捗状況を点検し、見直しを行う。

平成24（2012）年度～平成33（2021）年度
---------------------------

---

## 第2章 住宅・住環境の現状と課題

### 2-1 上位関連計画

#### (1) 住生活基本法及び関連計画

##### ①住生活基本法・住生活基本計画（平成18年6月）

住まい・住環境をめぐるのは、住宅ストックの量的充足、本格的少子高齢化と人口減少社会の到来等の背景を受けて、これまでの住宅施策を大きく転換した住生活基本法が平成18年6月に施行され、国民の住生活の「質」の向上や住宅セーフティネット機能の向上等の道筋が示された。また、平成19年に制定された「住宅確保要配慮者に対する賃貸住宅の供給の促進に関する法律（通称：住宅セーフティネット法）」では、住宅確保要配慮者として、低額所得者だけでなく、被災者、高齢者、障害者、子育て世帯等がその範囲として定義された。

住生活基本計画（平成18年）では、計画の目標として下記の4点が示されている。

- 目標-1 安全・安心で豊かな住生活を支える生活環境の構築
- 目標-2 住宅の適正な管理及び再生
- 目標-3 多様な居住ニーズが適切に実現される住宅市場の環境整備
- 目標-4 住宅の確保に特に配慮を要する者の居住の安定の確保

##### ②バリアフリー新法他

この他、少子高齢化や環境問題、安全に関する意識の高まり等の背景を受けて下記のような様々な関連法令や制度が制定されている。

- ・ 公営住宅整備基準の見直し（平成21年4月1日施行）
- ・ 高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律  
（バリアフリー新法。平成18年12月20日施行）
- ・ エネルギーの使用の合理化に関する法律の一部改正  
（改正省エネ法。平成21年4月1日施行）
- ・ 住宅の長寿命化に係る公営住宅等ストック総合改善事業対象要綱の改正  
（平成21年5月29日施行）
- ・ 特定住宅瑕疵担保責任の履行の確保等に関する法律（平成21年10月1日施行）

---

### ③富山県住まい・まちづくり計画（平成19年2月）

#### ア 計画期間

・平成18年度～27年度

※5年を経過し、現在（平成23年度）見直し中

#### イ 住まい・まちづくりの基本理念

・「元気とやま」を支える豊かな住まい・まちの創造

#### ウ 住まい・まちづくりの目標及び施策の展開

A：豊かな住宅資産の形成と住文化の維持　〈住まい〉

- (1) 良質な住まいの普及とリフォームの支援
- (2) 高齢者等が豊かに暮らせる仕組みの整備支援
- (3) 安全で人と環境にやさしい住まい・まちづくりの促進

B：美しい県土に資する住環境の形成　〈まち・景観〉

- (4) 地域活性化による住まい・まちづくりの促進
- (5) 地域の景観に配慮した住宅の整備支援
- (6) 良好な居住環境の整備の促進

C：共助・協働による住まい・まちづくり　〈住まい手〉

- (7) 住まい・まちづくりに関する住民活動の支援

D：地域住宅産業と住宅市場の活性化　〈事業者・市場〉

- (8) 信頼のおける住宅供給システムの普及促進
- (9) 地域資源・県産材を活用した住宅の普及促進
- (10) 住宅ストック関連産業・市場の活性化促進

E：居住の安定の確保　〈セーフティネット〉

- (11) 公的賃貸住宅施策の展開方針
- (12) 公営住宅の供給の目標量

---

## (2) 入善町総合計画及び関連計画

### ①第6次入善町総合計画（平成23年3月）

#### ア 計画の期間

- ・基本構想：平成23年度～平成32年度（10年間）
- ・基本計画：前期 平成23年度～平成27年度（5年間）  
後期 平成28年度～平成32年度（5年間）

#### イ 将来像

扇状地に 水と幸せがあふれるまち 入善  
～人のきずなで未来へつなぐ～

#### ウ 基本理念

- ・先人から受継いだ貴重な財産を「いかす」ことにより、豊かな自然環境や産業基盤を築き、うるおいあるまちづくりを目指します。
- ・うるおいある生活の中で、健康で快適に安心して暮らせる生活基盤を「つくる」ことにより、生涯暮らしたいと思う豊かなまちづくりを目指します。
- ・豊かな生活の中で、心豊かな人を育み、みんなが協力して地域を「になう」ことにより、将来にわたり元気なまちづくりを目指します。

#### エ まちづくりの大綱

##### ・まちづくりの基本テーマ

「いかす」 ～人と大地の恵みを「活かす」まちづくり～

「つくる」 ～快適・安心・健康の暮らしを「創る」まちづくり～

「になう」 ～人が集い、力を合わせて地域をともに「担う」まちづくり～

##### ・まちづくりの目標

目標1 豊かな水、みどりを守り、未来へつなぐまちづくり

目標2 地域資源を活かした魅力あるまちづくり

目標3 快適に安心して暮らせるまちづくり

：町営住宅や優良宅地の整備を推進するとともに、空き家の再利用など、住環境の整備を図ります。他

目標4 健康で幸せに生涯くらすまちづくり

目標5 文化を守り、心豊かな人を育てるまちづくり

目標6 町民とともに支えるまちづくり

#### オ 将来人口

- ・目標人口 27,000人（平成32年度）

②入善町都市計画マスタープラン（平成23年度策定中）

ア 将来像

扇状地の水と恵みを活かし うるおい・豊かさ・賑わいを感じるまち 入善

イ 都市づくりの基本方針

- ・【基本方針1】農地や自然と調和したうるおいのある都市づくり
- ・【基本方針2】安全で快適に暮らせる豊かな都市づくり
- ・【基本方針3】にぎわいあふれる都市づくり

ウ 都市づくりの重点戦略

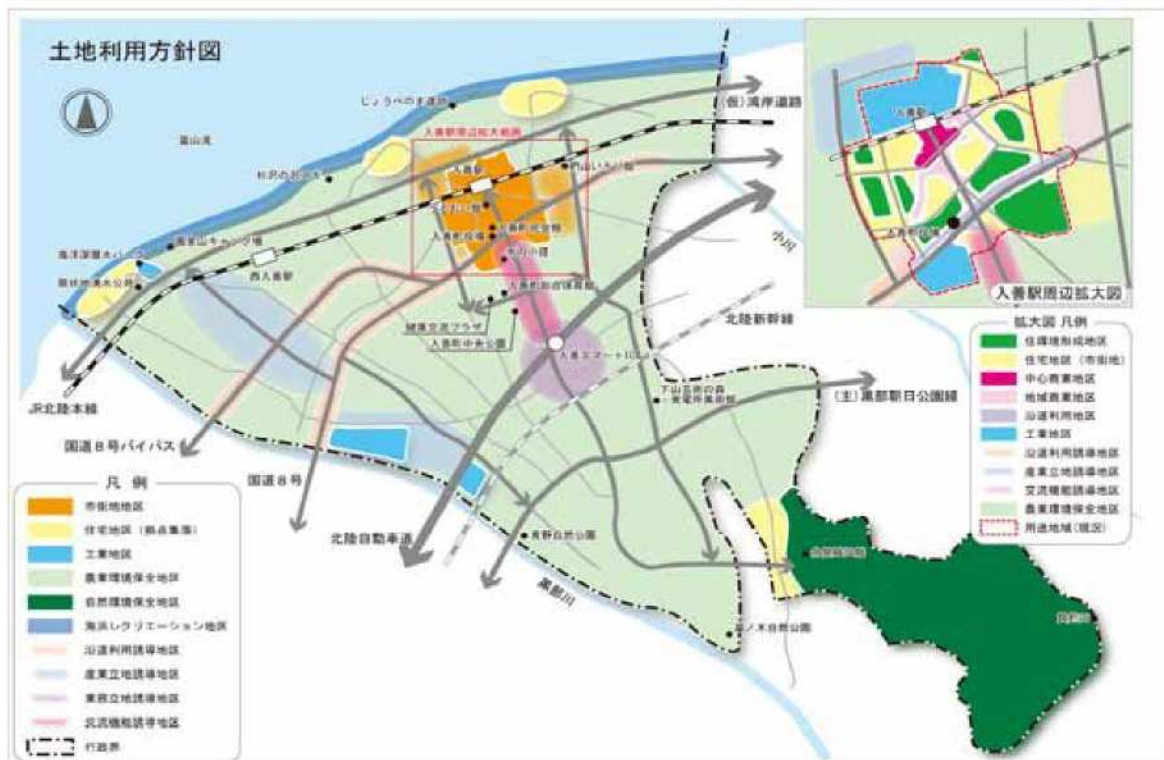
『次代に繋げる持続可能な定住都市』

- ・【重点戦略①】働く場所の創出による定住促進
- ・【重点戦略②】安全・安心な環境整備による定住促進

エ 将来都市構造図



オ 土地利用方針図



### ③高齢者保健福祉計画（平成21年4月）

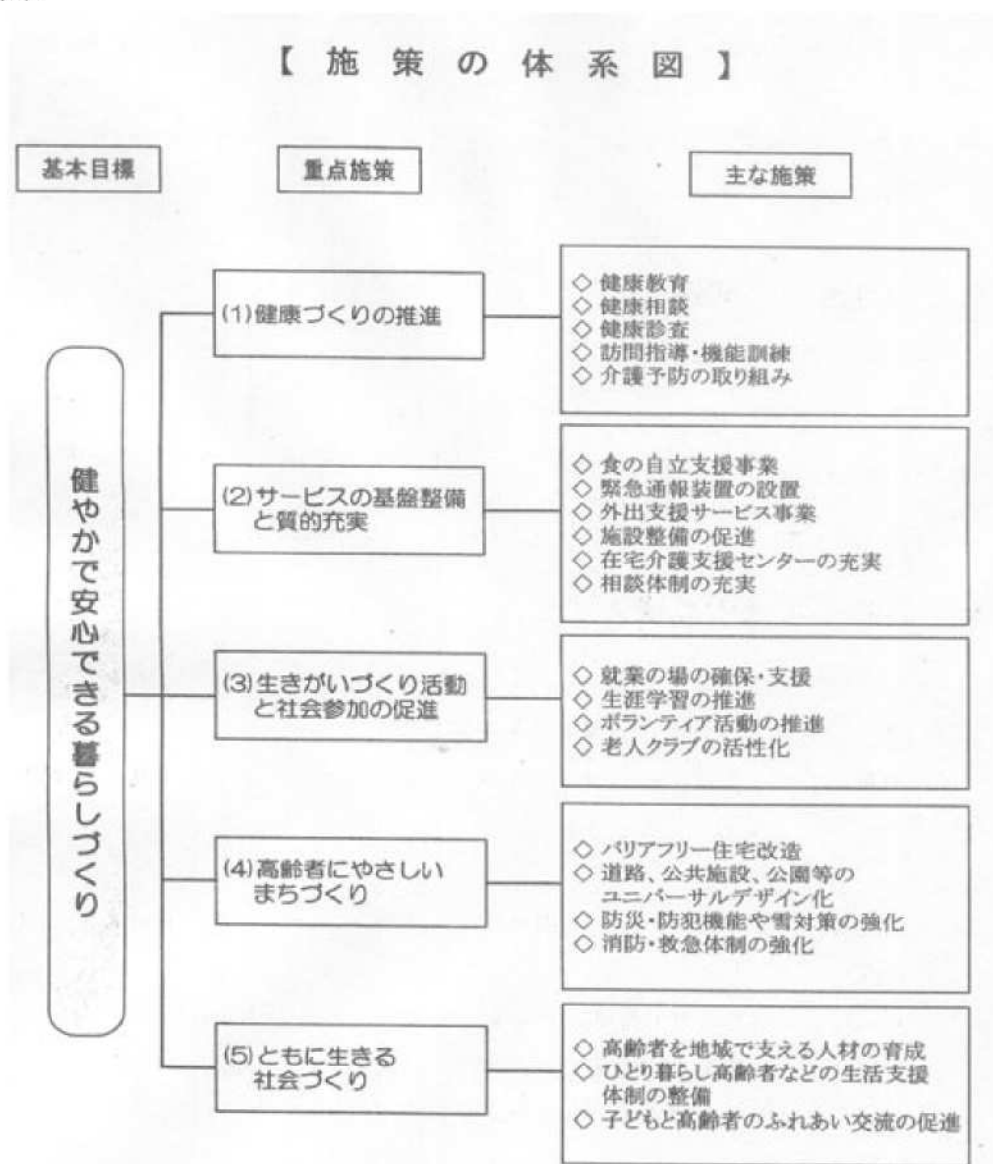
#### ア 位置付け

本計画は、平成16年3月に策定された「入善町高齢者保健福祉計画」（平成15年度～平成19年度）を土台に、平成21年3月に新川地域介護保険組合の第4期介護保険事業計画が改定されたのを受けて見直しが行われ、高齢者保健福祉全般にわたる供給体制の確保や推進を図ることを目的とし、新たに策定されたもの。

#### イ 計画の期間

- ・平成21年度～平成23年度（平成23年度に、平成24年度から平成26年度までの計画を策定中）

#### ウ 施策の体系



### (3) 住宅施策関連計画

#### ①入善町公共賃貸住宅再生マスタープラン（平成9年3月）

##### ア 計画策定の趣旨

平成4年の国の「公共賃貸住宅建替10箇年戦略」の公表、平成6年に策定の「富山県公共賃貸住宅建替促進計画」等の流れを受けて、入善町の公共賃貸住宅再生の方向性を多角的に検討したものの。

##### イ 計画の概要

###### ○公営住宅等の整備方針

- ・良質な住宅ストックの形成
- ・地域の活性化に寄与する公的住宅の供給
- ・住環境・居住水準の向上
- ・地域の風土や生活文化に根ざした住宅の形成
- ・多様な階層の混住
- ・収入超過世帯、単身世帯の需要への対応
- ・高齢化に対応した住宅の供給
- ・雪に対する対策

###### ○公営住宅等の建替えを中心とした種別計画戸数

団地名	現況	計画戸数			備考
		公営住宅	特定公共賃貸住宅		
東 町	59戸	112戸	82戸	30戸	SH:20戸
上 原	59戸	102戸	59戸	43戸	SH:20戸
舟 見	20戸	48戸	32戸	16戸	SH:20戸
新櫛山	30戸	35戸	27戸	8戸	
駅 南	66戸	66戸	48戸	18戸	
計	234戸	363戸	248戸	115戸	

※SH：シルバーハウジング

#### ②東町町営住宅再生団地計画（平成11年3月）

##### ア 計画策定の趣旨

平成9年3月策定の入善町公共賃貸住宅再生マスタープランを踏襲しつつ、町の中核的団地である東町町営住宅について、その計画の前提条件となる都市計画道路の位置、シルバーハウジング事業の具体的検討等を行い、再生のための基本計画としてまとめたもの。

##### イ 計画戸数

計画戸数は、入善町公共賃貸住宅再生マスタープラン時と変わらず、計112戸である。

## 2-2 住宅・住環境を取り巻く現状

### (1) 入善町の概要

#### ①位置、地勢、気象等

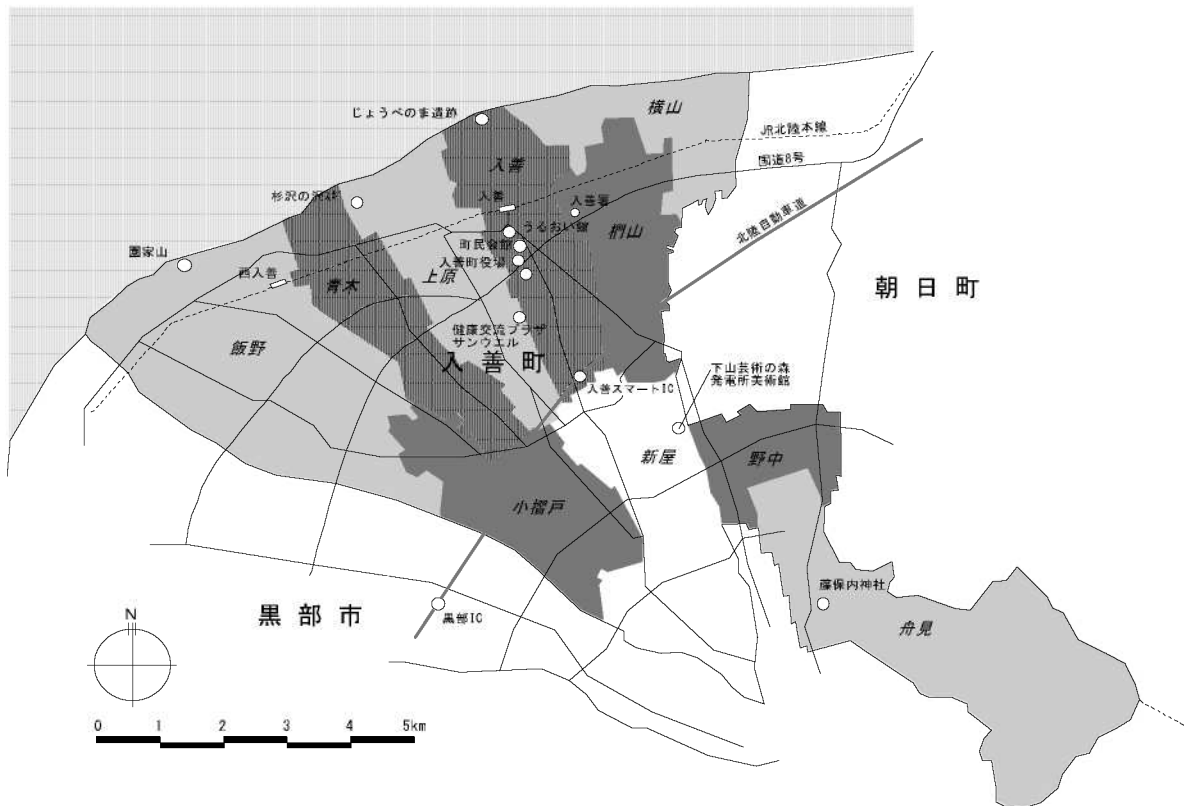
本町は、一級河川黒部川が形成した我が国の代表的な黒部川扇状地の中央に位置し、東に朝日町、南西に黒部市、北は日本海に面している。

また、日本海に面した北側の海岸線の長さは約11.5kmあり、それを底辺とする南に尖った三角形をした地域である。

町全体は、扇状地とその東に接する標高80～150mの舟見台地、さらに背後は町最高点の負釣山（標高959.3m）に連なる丘陵部の3つに分けられる。

気象面では、年平均気温14.1℃、降水量2,577mm、平均湿度74%、日照時間1,731.5時間となっている。（資料：入善町ホームページ「町の概要」）

#### 口入善町全域図（地区別図）





## ②主要施設の概要

入善町内の主要な文化・交流、福祉、教育系施設は下記の通りとなっている。

### ア 文化・交流系施設

駅を中心とした中心市街地内に、「町民会館」やまちなか交流施設「うるおい館」がある。

下山には、水力発電所を美術館として活用した「発電所美術館」があり、大正時代の面影を残すその建物は、国の有形文化財にも登録されている。

健康・福祉・交流の場としては、総合体育館に隣接して「健康交流プラザ・サンウェル」がある。

### イ 介護保険施設

町内には、特別養護老人ホームが2ヶ所、介護老人保健施設が1ヶ所、療養型医療施設が1ヶ所ある。その他、グループホーム（介護保険特定施設）が計3ヶ所ある。

#### 【特別養護老人ホーム】

地区	名称	定員
1 舟見	特別養護老人ホーム舟見寿楽苑	100人
2 上原	特別養護老人ホームおあしす新川	80人
計		180人

#### 【介護老人保健施設】

地区	名称	定員
1 柵山	入善老人保健施設こぶしの庭	150人
計		150人

#### 【療養型医療施設】

地区	名称	病床数
1 入善	坂本記念病院	19床
計		19床

#### 【グループホーム】

地区	名称	施設数
1 飯野	東狐金さん銀さん	1
2 入善	富山型共生グループホーム双葉	1
3 上原	グループハウスうらら	1
計		3

平成22年7月富山県の老人福祉等一覧

### ウ 保育所

町内には、計11ヶ所の保育所が開設されている。地域別では、入善地区に3ヶ所、飯野地区2ヶ所、上原、青木、柵山、横山の各地区に1ヶ所、小摺戸と新屋、舟見と野中地区にはそれぞれ2地区に1ヶ所ずつとなっている。

### エ 幼稚園

町内には、上原地区に1ヶ所幼稚園が開設されている。

### オ 小学校

町内には、計6校の小学校があり、入善、上原、飯野、小摺戸、柵山、舟見の各地区にある。

### カ 中学校

町内には、計2校の中学校があり、入善地区と上原地区にある。

## (2) 入善町の住環境・住文化

### ①町域全体の概況

本町は、黒部川扇状地のほぼ中央に位置し、愛本を扇の要として、扇状に開いた広大な平野部をもつ田園風景の中にある。また、我が国で最も典型的なこの扇状地に、屋敷林に囲まれた散居村が今も息づいている。

古くはこのあたり一帯は「黒部四十八ヶ瀬」と称され、親不知とともに北国往還最大の難所として知られていたが、宿場町として発展し、山沿いには「上往還道」、海岸沿いには「下往還道」が通っていた。

海岸線に近いところでは、県内に三ヶ所しかない一等三角点（本点）である園家山が緑の森を形成している。また、海岸に沿っては、集落が点在している。

本町の環境を特徴づけるのは「水」である。黒部川の水は扇状地の中を伏流水として流れ、湧水となって扇端部で自噴している。この「黒部川扇状地湧水群」は、昭和60年に環境庁「全国名水百選」に選ばれている。また、湧水群の一つである「杉沢の沢スギ」は、国の天然記念物に指定されている。さらに、扇状地上を流れる清冽な農業用水も、豊かな水に恵まれた本町の姿を象徴している。

近年は、中央通り線に沿って交流拠点施設の整備や町並み整備が進んでいる。また、交通利便性を活かし、産業立地が期待されている北陸自動車道入善スマートIC付近と市街地を結ぶ沿線ゾーンも、今後交流機能誘導地区としてのまちづくりが期待されている。

この他、有形文化財として、江戸時代末期の様式を持つ建造物として藤保内神社がある。

また、平安時代の荘所跡で、国指定の史跡じょうべのま遺跡等もある。

### ②特徴的な住景観・町並み

中央通り線沿いの町並み



園家山と周辺集落景観



杉沢の沢スギ遠景



扇状地平野の散居村と田園風景



舟見山からみた散居村景観



入善スマートIC付近の状況



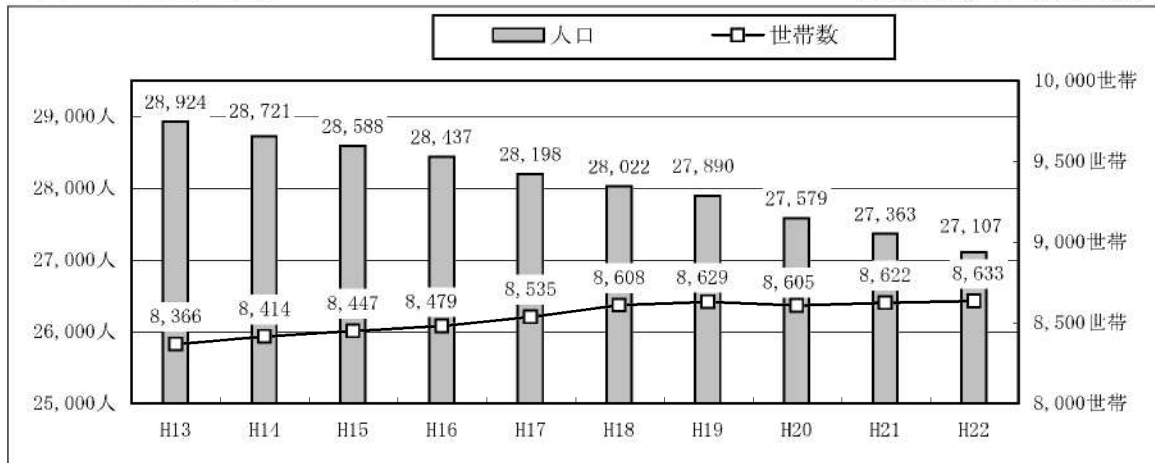
(3) 人口、世帯等の状況

①人口・世帯数等の推移

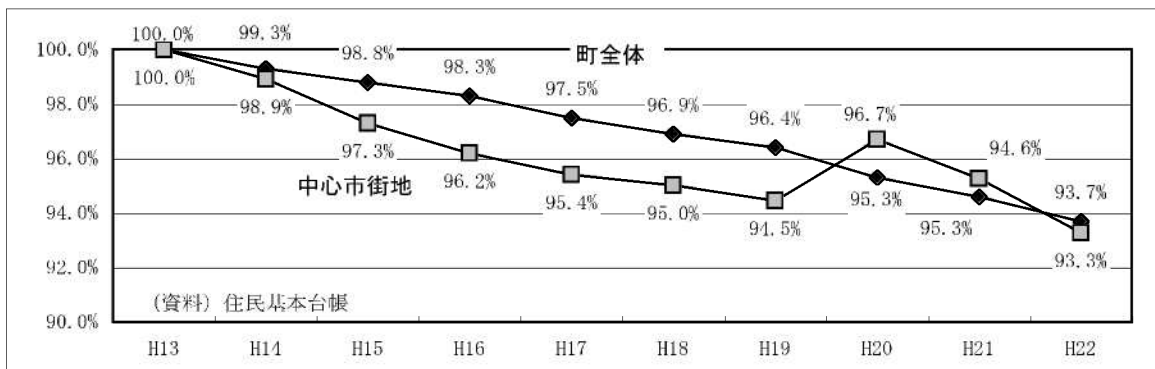
過去10年間の人口は、ずっと減少傾向にあり、平成22年では、27,107人となっている。  
 また、人口の推移では、町全体より中心市街地の方がやや減少率が高い傾向となっている。  
 世帯数は、平成19年までは増加傾向にあったが、これ以降は横ばい状況となっている。  
 他方、1世帯当り人員は、富山県平均を上回ってはいるが、減少傾向で推移している。

□人口・世帯数の推移

住民基本台帳（各年9月末時点）

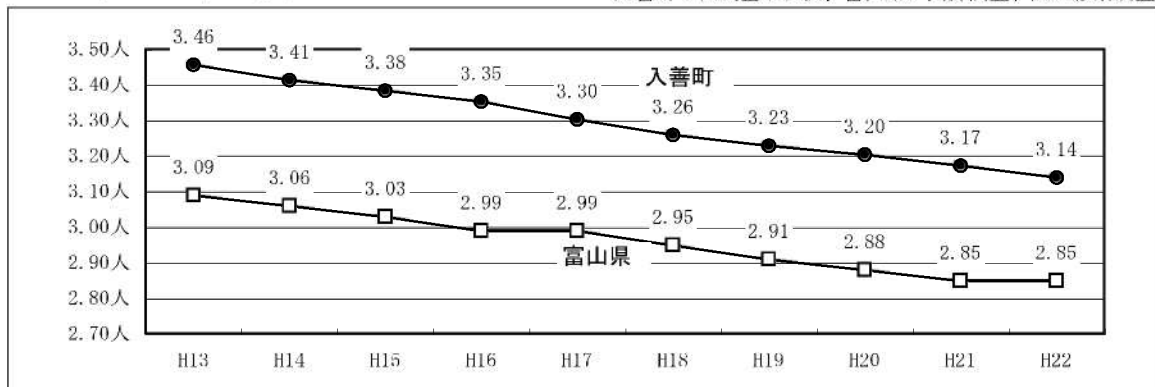


□入善町全体及び中心市街地（全ての区域が用途地域内に含まれる町内と設定）の平成13年を100%とする人口の推移



□1世帯当り人員の推移

入善町：住民基本台帳、富山県：国勢調査、人口移動調査



## ②地区別人口・世帯数の推移

近年10年間で、人口が増加した地区は櫛山のみで、他は減少している。10%以上の減少率となっている地区は3地区で、横山と山間地に近い舟見、野中である。

世帯数で減少したのは地区の半数以下の4地区で、新屋、横山、舟見、野中となっている。その他の地区は増加しており、特に、上原、櫛山の2地区は、二桁以上の増加率となっている。

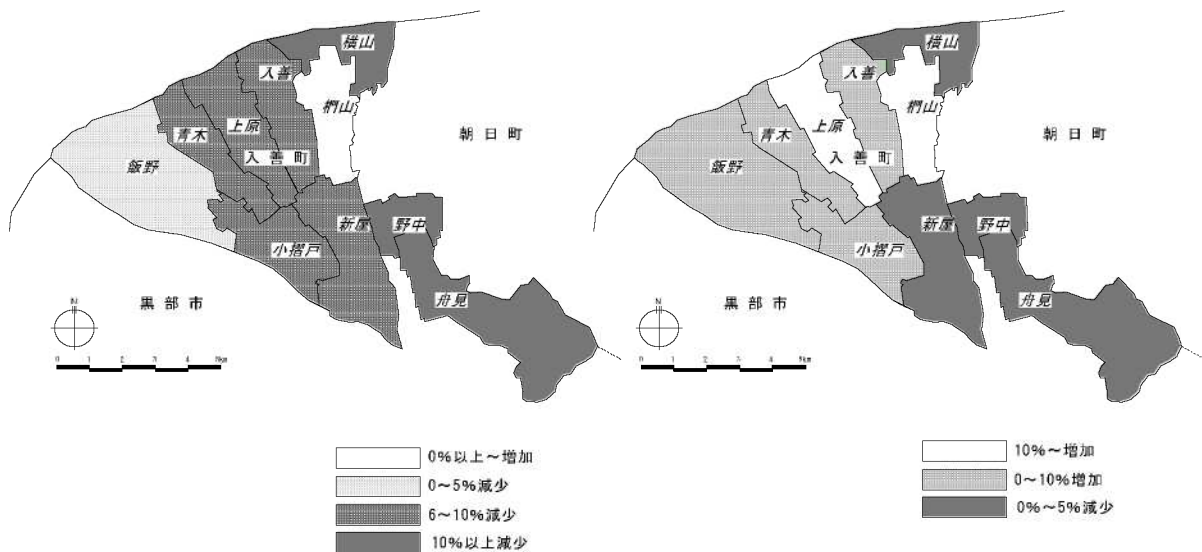
単位：人、世帯

地区	H12年		H17年		H22年		H12～H22間の増減率		備考
	人口	世帯数	人口	世帯数	人口	世帯数	人口	世帯数	
入善	7,215	2,284	6,953	2,267	6,772	2,323	-6.1%	1.7%	住民基本台帳。
上原	3,389	929	3,295	1,037	3,168	1,049	-6.5%	12.9%	
青木	2,063	555	1,973	564	1,879	565	-8.9%	1.8%	
飯野	5,510	1,491	5,410	1,540	5,251	1,579	-4.7%	5.9%	
小摺戸	1,616	398	1,545	400	1,486	403	-8.0%	1.3%	
新屋	2,316	635	2,205	637	2,086	626	-9.9%	-1.4%	
櫛山	2,448	687	2,514	750	2,497	782	2.0%	13.8%	
横山	2,023	564	1,901	557	1,789	552	-11.6%	-2.1%	
舟見	1,680	554	1,608	549	1,459	533	-13.2%	-3.8%	
野中	815	230	794	234	720	221	-11.7%	-3.9%	
計	29,075	8,327	28,198	8,535	27,107	8,633	-6.8%	3.7%	

## □地区別増減図（平成12年～平成22年）

人口

世帯



### ③人口動態

本町における近年の人口動態の推移をみると、出生者は前年比増加あるいは減少の横ばい状況といえるが、死亡者数は出生者数を上回りながら緩やかな増加傾向にある。

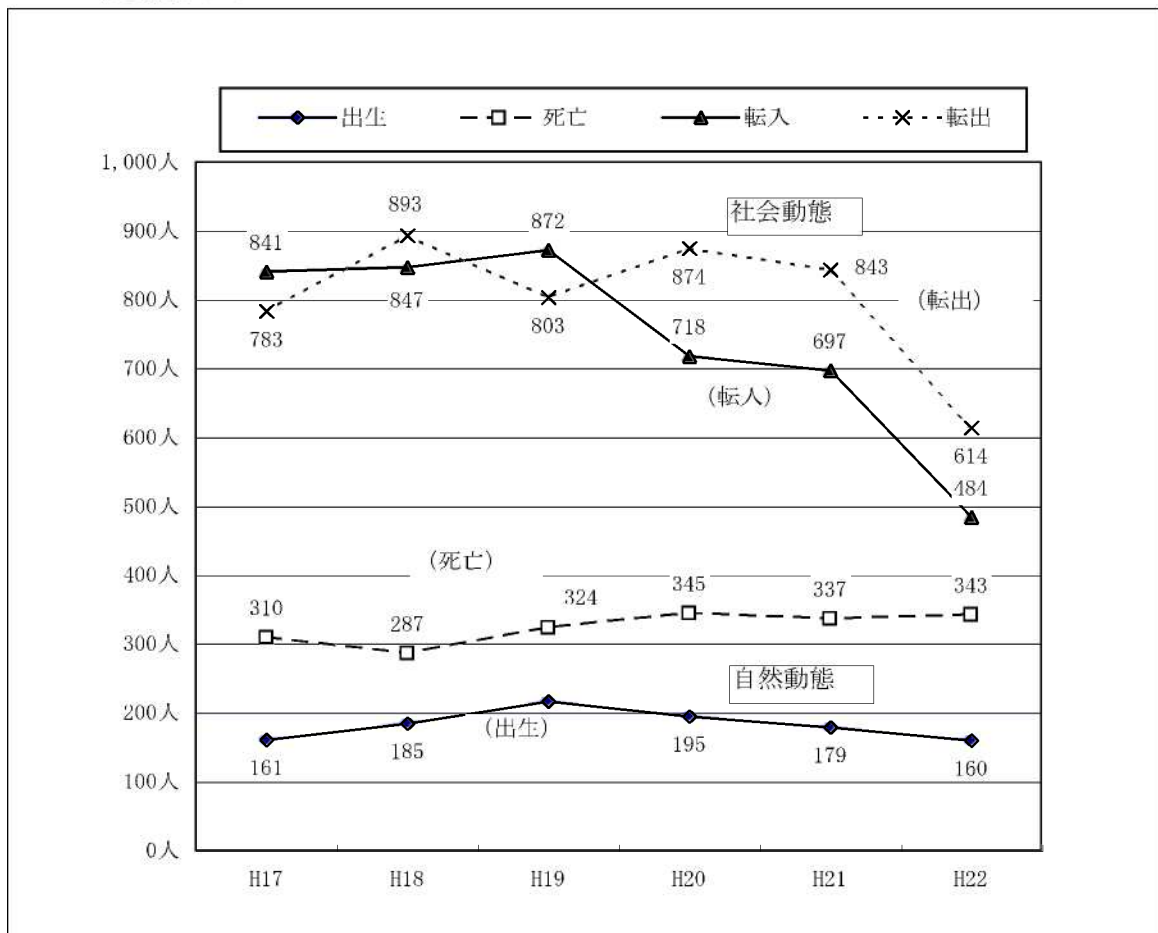
#### □人口動態の推移

単位：人

	純増減	自然動態			社会動態			備考
		自然増減	出生者数	死亡者数	社会増減	転入者数	転出者数	
H17	△ 91	△ 149	161	310	58	841	783	
H18	△ 148	△ 102	185	287	△ 46	847	893	
H19	△ 38	△ 107	217	324	69	872	803	
H20	△ 306	△ 150	195	345	△ 156	718	874	
H21	△ 304	△ 158	179	337	△ 146	697	843	
H22	△ 313	△ 183	160	343	△ 130	484	614	

H21年度統計入善（H22は、住民基本台帳集計）

#### □人口動態推移グラフ



#### ④人口移動の状況

##### ア 転入・転出者数の状況

平成22年の県内各市町村から入善町への転入者数は合計343人で、元の居住地で多いのは富山市で、ついで黒部市、朝日町、魚津市、滑川市の順となっている。これら5市町村で全体の約9割を占めている。

他方、転出者数は、転入数とほぼ同じ合計350人となっている。転出先で多いのも富山市で、ついで黒部市、朝日町、魚津市、滑川市の順となっている。これら5市町村で、転入者と同じく全体の約9割を占めている。

##### □人口移動の状況（県内）

単位：人

H22	富山市	高岡市	魚津市	氷見市	滑川市	黒部市	砺波市	小矢部市	南砺市	射水市	朝日町	その他	県内計
転入者数	89	9	49	3	27	81	4	1	1	18	56	5	343
	25.9%	2.6%	14.3%	0.9%	7.9%	23.6%	1.2%	0.3%	0.3%	5.2%	16.3%	1.5%	100.0%
転出者数	95	14	44	1	30	94	1	1	6	9	46	9	350
	27.1%	4.0%	12.6%	0.3%	8.6%	26.9%	0.3%	0.3%	1.7%	2.6%	13.1%	2.6%	100.0%
転入者数 －転出者数	△ 6	△ 5	5	2	△ 3	△ 13	3	0	△ 5	9	10	△ 4	△ 7

県人口移動調査  
単位：人

##### □人口移動の状況（県内外）

転入・転出者の県内外比を見ると、ほぼ半々であるが、転出者で、やや県外への数が多い傾向が見受けられる。

H22	県内計	県外計	合計
転入者数	343	347	690
	49.7%	50.3%	100.0%
転出者数	350	403	753
	46.5%	53.5%	100.0%
転入者数 －転出者数	△ 7	△ 56	△ 63

県人口移動調査

##### イ 通勤・通学者の状況

入善町居住者のほとんどが県内に就業している。県内内訳では、町内が約6割、ついで黒部市が多く、合わせて全体の8割となっている。他方、通学者では、やはり県内がほとんどであるが、県内内訳では、町内が一番多いものの約4割に留まり、ついで富山市、黒部市、魚津市と続き、分散している。

##### □入善町居住者の市町村別就業地

単位：人

	入善町	富山市	魚津市	黒部市	朝日町	その他	県内計	県外	計
就業者数	8,958	765	1,040	3,304	812	306	15,185	96	15,281
割合	58.6%	5.0%	6.8%	21.6%	5.3%	2.0%	99.4%	0.6%	100.0%

##### □入善町居住者の市町村別通学地

単位：人

	入善町	富山市	魚津市	黒部市	朝日町	その他	県内計	県外	計
通学者数	488	228	224	127	86	76	1,229	24	1,253
割合	38.9%	18.2%	17.9%	10.1%	6.9%	6.1%	98.1%	1.9%	100.0%

H15年住宅土地統計調査

⑤少子・高齢化の状況

ア 年齢階層別人口

年少人口は減少傾向が続き、平成22年では全人口の12.1%となっている。他方、高齢人口は増加傾向となっており、平成22年では28.4%となっている。

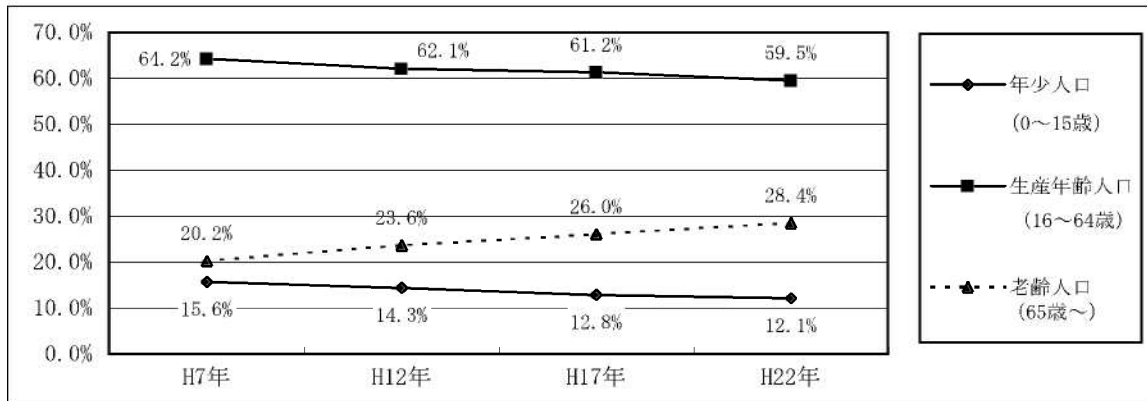
5歳階級別人口構成をみると、高齢女性の割合が男性に比べて非常に多い傾向となっている。

□年齢3区分別人口の推移

単位：人

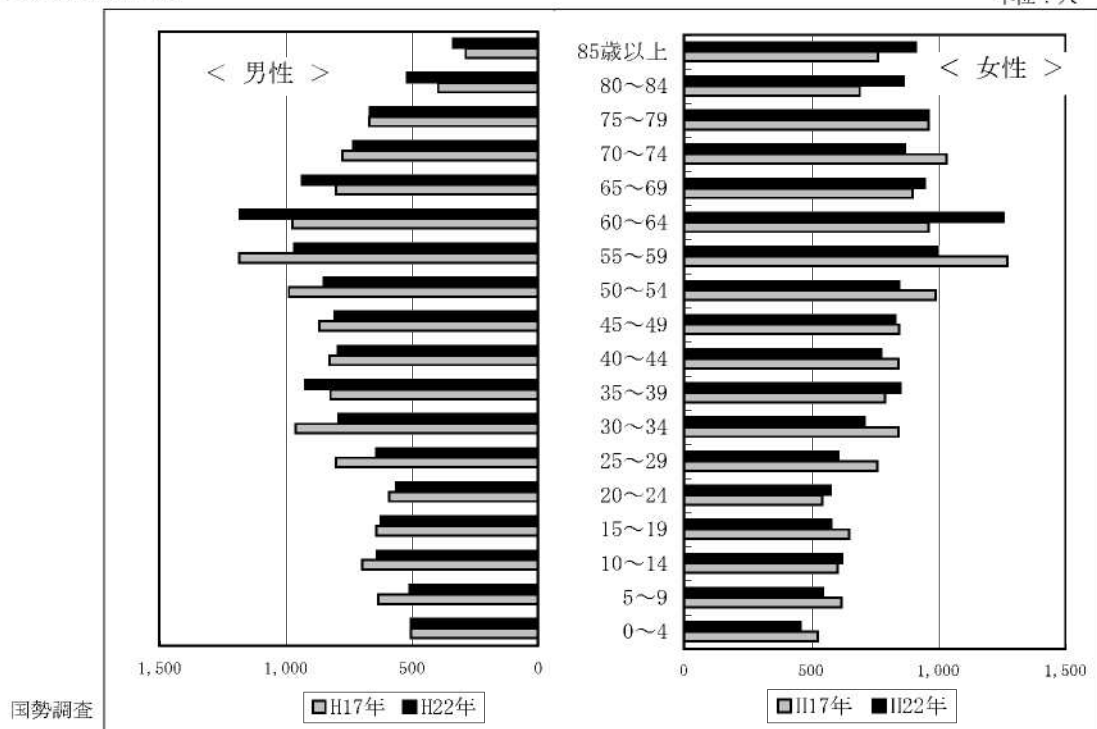
	人口				割合			
	Ⅱ7年	Ⅲ12年	Ⅲ17年	Ⅳ22年	Ⅱ7年	Ⅲ12年	Ⅲ17年	Ⅳ22年
年少人口	4,510	4,054	3,582	3,279	15.6%	14.3%	12.8%	12.1%
生産年齢人口	18,543	17,557	17,149	16,164	64.2%	62.1%	61.2%	59.5%
高齢人口	5,833	6,665	7,274	7,727	20.2%	23.6%	26.0%	28.4%
計	28,886	28,276	28,005	27,170	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

国勢調査（不詳除く）



□5歳階級別人口

単位：人



## イ 高齢化率の推移等

高齢化率は上昇傾向が続いており、平成22年では28.3%となっている。また、全国平均や県平均を上回って推移している。

高齢者のいる世帯も増加傾向にあり、その割合も総世帯の半数を超え、平成22年には58.7%となっている。

また、高齢夫婦のみの世帯も増加しており、総世帯数の約1割である。高齢単身世帯も増加しており、平成22年には総世帯数の8.6%となっている。

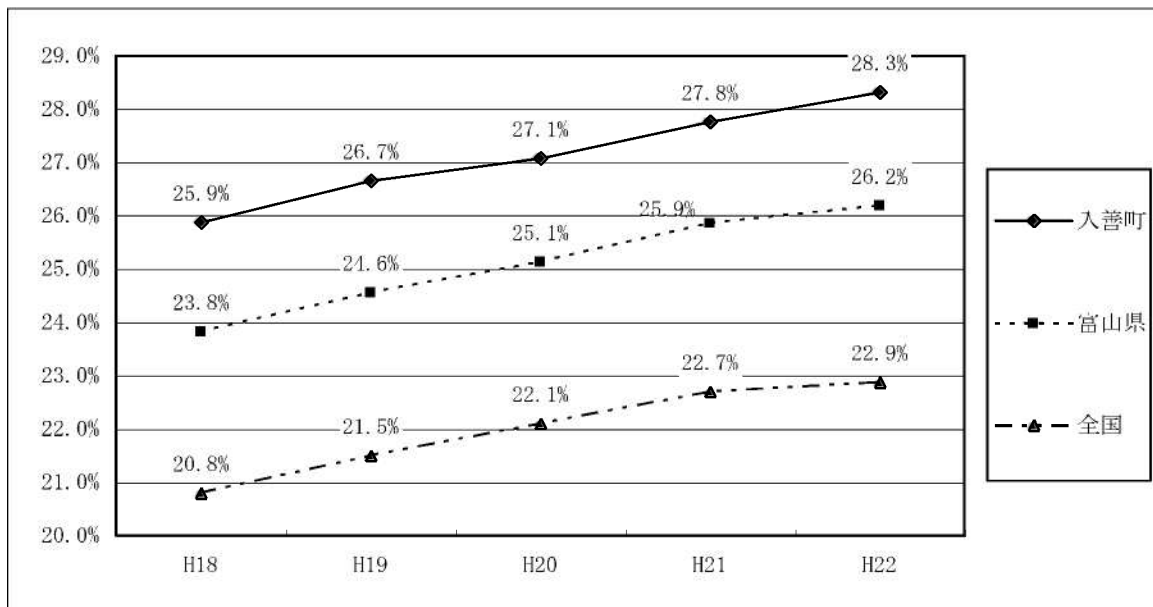
### □高齢者人口の推移

単位：人

	H18	H19	H20	H21	H22
高齢者人口（65歳以上）	7,263	7,441	7,502	7,610	7,712
全人口	28,068	27,912	27,706	27,413	27,237
高齢者割合（高齢化率）	25.9%	26.7%	27.1%	27.8%	28.3%

統計入善（平成21年版）

### □高齢化率の推移



全国：総務省統計局人口推計資料、富山県：県統計ワールド資料、入善町：統計入善

### □高齢者のいる世帯数の推移

単位：世帯

	H7	H12	H17	H22
入善町総世帯数	7,953 (100.0%)	8,258 (100.0%)	8,716 (100.0%)	8,649 (100.0%)
高齢者のいる世帯	4,061 (51.1%)	4,472 (54.2%)	4,765 (54.7%)	5,077 (58.7%)
単身世帯	371 (4.7%)	505 (6.1%)	601 (6.9%)	747 (8.6%)
夫婦世帯	560 (7.0%)	721 (8.7%)	849 (9.7%)	966 (11.2%)

注) 夫婦世帯：夫又は妻が65歳以上

国勢調査



### ウ 地区別高齢化の状況

65歳以上の高齢者のいる割合で最も高い地区は舟見で、40.2%となっている。他方、柗山が最も低く、20.7%となっている。その他の地区は25%から30%前後となっている。

単位：人

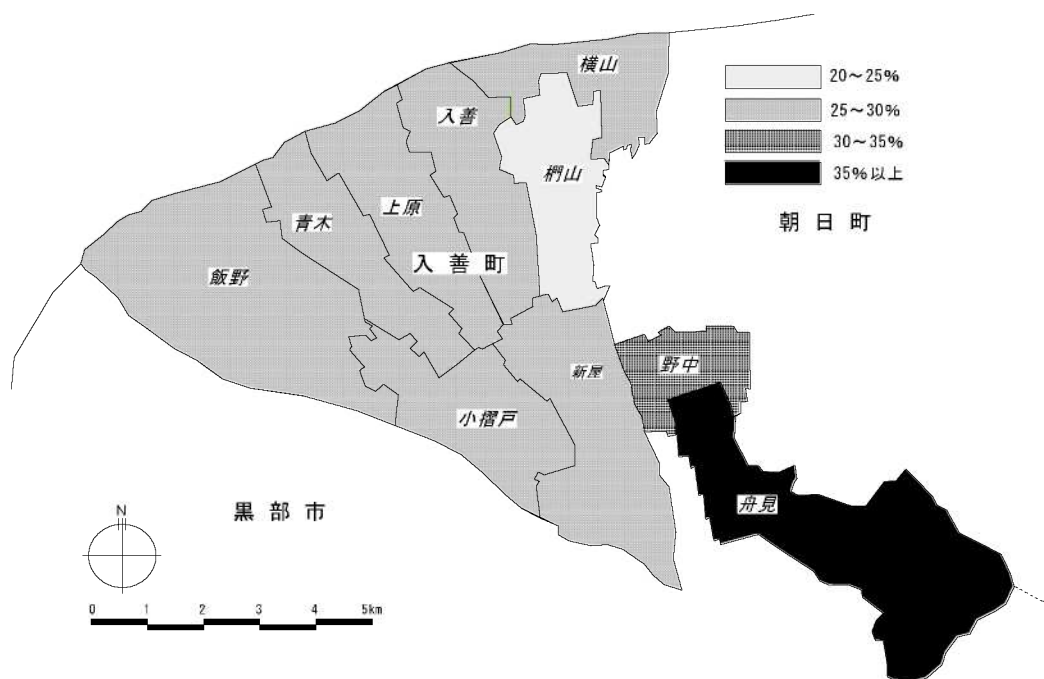
地区名	全体人口	65歳以上	高齢化率 (1)	75歳以上	高齢化率 (2)
人 善	6,723	1,944	28.9%	1,016	15.1%
上 原	3,126	935	29.9%	522	16.7%
(おあしす※除く)	3,058	867	28.4%	454	14.8%
青 木	1,881	506	26.9%	256	13.6%
飯 野	5,205	1,394	26.8%	755	14.5%
小摺戸	1,477	435	29.5%	278	18.8%
新 屋	2,069	600	29.0%	347	16.8%
柗 山	2,522	523	20.7%	289	11.5%
横 山	1,771	524	29.6%	297	16.8%
舟 見	1,423	572	40.2%	389	27.3%
(寿楽苑※除く)	1,324	474	35.8%	296	22.4%
野 中	714	226	31.7%	138	19.3%
計	26,911	7,659	28.5%	4,287	15.9%

※おあしす：特別養護老人ホームおあしす新川

H23年4月1日時点住民基本台帳

※寿楽苑：特別養護老人ホーム寿楽苑

### □地区別高齢化率（65歳以上）図



## ⑥その他の状況

### ア 生活保護世帯

生活保護世帯数はほぼ横ばいの状況で推移しており、保護率も約0.1%前後となっている。

住宅扶助世帯も10世帯程度で推移している。

単位：人・世帯

		H18	H19	H20	H21	H22
総人口		28,045	27,894	27,615	27,368	27,126
生活保護人員	被保護世帯	21	20	19	22	23
	被保護人員	25	24	23	26	25
	保護率	0.09%	0.09%	0.08%	0.10%	0.09%
	住宅扶助延べ世帯	8	11	9	10	11

町資料。人口は各年9月時点住民基本台帳。

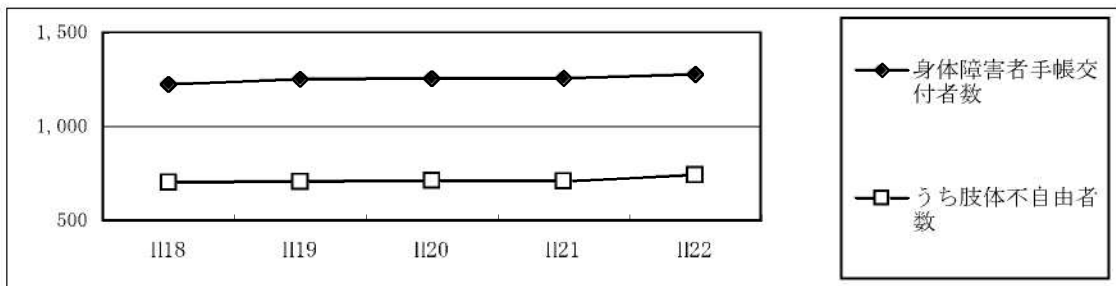
### イ 障害者

身体障害者手帳交付者数及びそのうちの肢体不自由者数も、ほぼ横ばい状況となっている。

単位：人

		H18	H19	H20	H21	H22
総人口		28,045	27,894	27,615	27,368	27,126
身体障害者手帳交付者数		1,225	1,253	1,256	1,258	1,279
	うち肢体不自由者数	704	707	714	710	742
身体障害者手帳交付者数割合		4.4%	4.5%	4.5%	4.6%	4.7%

町資料。人口は各年9月時点住民基本台帳。



### ウ 外国人

本町に住む外国人の数は、ここ二年間は減少傾向にあるものの、年毎に変動がある。

町営住宅入居者は、6~8人とほぼ横ばい状況といえる。

単位：人

		H18	H19	H20	H21	H22
総人口		28,045	27,894	27,615	27,368	27,126
外国人総数		433	450	458	383	362
	(H18年度を100とした時の割合)	100.0%	103.9%	105.8%	88.5%	83.6%
外国人割合		1.5%	1.6%	1.7%	1.4%	1.3%
うち町営住宅入居者		8	8	8	7	6

町資料。人口は各年9月時点住民基本台帳。

#### (4) 住宅等の現況

##### ①住宅所有関係別世帯数の推移

持ち家の割合は県全体の平均より高く推移しており、平成22年では86.6%となっている。他方、民営借家や間借り、その他住宅以外に住む世帯が増えている。

(参考) 富山県全体の持ち家の割合は、約77% (平成22年国勢調査)。

単位：世帯

		II12	II17	II22
一般世帯	A	8,240 (100.0%)	8,708 (100.0%)	8,649 (100.0%)
住宅に住む一般世帯	B	8,091 (98.2%)	8,467 (97.2%)	8,449 (97.7%)
主世帯	C	8,073 (98.0%)	8,361 (96.0%)	8,395 (97.1%)
持ち家	D	7,303 (88.6%)	7,436 (85.4%)	7,494 (86.6%)
公営・公団・公社の借家	E	334 (4.1%)	370 (4.2%)	282 (3.3%)
民営の借家	F	279 (3.4%)	324 (3.7%)	505 (5.8%)
給与住宅	G	157 (1.9%)	231 (2.7%)	114 (1.3%)
間借り	H	18 (0.2%)	106 (1.2%)	54 (0.6%)
住宅以外に住む一般世帯	I	149 (1.8%)	241 (2.8%)	200 (2.3%)

国勢調査

##### ②住宅規模等の水準

住宅規模等の水準を県平均と比較すると、1世帯当たり人員はほぼ同じだが、1世帯当たりの延べ面積では、持ち家や民営の借家で県平均より小さくなっている。これは一人当たり延べ面積でも同様の傾向にある。

	区 分	持ち家	公営の借家	民営の借家	給与住宅
1世帯当たり人員 (人/世帯)	富 山 県	3.22	2.43	1.90	2.54
	入 善 町	3.40	2.36	2.02	1.38
1世帯当たり延べ面積 (㎡/世帯)	富 山 県	176.0	56.7	54.5	80.3
	入 善 町	197.7	51.4	63.5	46.2
1人当たり延べ面積 (㎡/人)	富 山 県	54.7	23.4	28.7	31.6
	入 善 町	58.1	21.8	31.5	33.5

H17年国勢調査

### ③住宅の所有関係別世帯年収の階級別世帯数の割合

主世帯の、富山県及び入善町の住宅区分別世帯収入の状況を以下に示す。

年収300万円以下の公営借家世帯の割合は約55%で、県平均以下となっている。また、民間借家は約48%で、これも主世帯全体の半数近くであるが、県平均をやや下回っている。

		200万円未満	200～300万円	300～400万円	400～500万円	500～700万円	700万円～	合計
富山県	持ち家	11.7%	12.3%	13.5%	12.2%	20.5%	29.8%	100.0%
	借家	27.6%	21.2%	15.7%	13.0%	13.0%	9.5%	100.0%
	公営借家	46.2%	21.7%	14.2%	9.4%	6.6%	1.9%	100.0%
	機構・公社の借家	33.3%	33.3%	16.7%	8.3%	8.3%	0.0%	100.0%
	民間借家	27.0%	20.1%	16.3%	14.5%	13.9%	8.2%	100.0%
	給与住宅	5.8%	26.7%	14.0%	9.3%	16.3%	27.9%	100.0%
	主世帯総数	14.9%	14.1%	13.9%	12.3%	19.0%	25.8%	100.0%
入善町	持ち家	9.0%	11.9%	10.9%	11.6%	21.4%	35.2%	100.0%
	借家	18.8%	30.4%	21.7%	13.0%	13.0%	2.9%	100.0%
	公営借家	40.0%	15.0%	25.0%	5.0%	10.0%	5.0%	100.0%
	機構・公社の借家	-	-	-	-	-	-	-(※)
	民間借家	8.7%	39.1%	17.4%	17.4%	13.0%	4.3%	100.0%
	給与住宅	12.5%	37.5%	25.0%	16.7%	8.3%	0.0%	100.0%
	主世帯総数	9.7%	13.5%	11.8%	11.8%	20.7%	32.5%	100.0%

※調査データなし

H20年住宅・土地統計調査（「不詳」を除く）

### ④住宅の高齢者等のための設備状況

住宅のバリアフリー化の状況では、「手摺がある」は全体の半数を超えているものの、廊下幅員や段差解消面では全体の25%（1/4）に満たない項目が多い。

住宅種別では、借家の「高齢者のための設備がない」が77.4%と高い割合となっている。

単位：世帯

入善町	総数	高齢者等の設備がある（複数回答）					高齢者等の設備はない	
		手摺がある	またぎやすい高さの浴槽がある	廊下の幅が車椅子で通行可能	段差のない屋内	道路から玄関まで車椅子で通行可能		
住宅総数	8,320	4,200	2,170	1,840	1,650	840	3,230	38.8%
専用住宅	7,870	3,930	2,030	1,770	1,570	810	3,070	39.0%
持ち家	6,810	3,730	1,870	1,620	1,330	630	2,250	33.0%
借家	1,060	200	170	150	230	180	820	77.4%
店舗その他併用住宅	460	270	140	70	70	40	160	34.8%
参考：総数に対する割合	-	50.5%	26.1%	22.1%	19.8%	10.1%	-	38.8%

注）複数回答のため内訳と合計は一致しない。

H20年住宅・土地統計調査（「不詳」を含む）

### ⑤最低居住面積水準未済世帯

最低居住面積水準未済世帯割合は、全体で5.0%で、県平均の約2倍となっている。種別では、給与住宅で全体の71.4%と高いのが特筆される。ついで民間借家の13.2%となっており、高い水準となっている。

#### □最低居住面積水準未済世帯割合

	全体	持家	公営借家	機構・公社の借家	民間借家	給与住宅
富山県	2.4%	0.1%	3.6%	13.3%	11.9%	11.7%
入善町	5.0%	0.1%	4.8%	-(※)	13.2%	71.4%

※調査データなし。

H20年住宅・土地統計調査

(参考) 最低居住面積水準 (住生活基本法より)

世帯人員別最低 居住面積水準	1人世帯	25㎡	4人世帯	50㎡
	2人世帯	30㎡	5人世帯	57㎡
	3人世帯	40㎡	6人世帯	67㎡

### ⑥住宅の建築状況

入善町のここ数年間の新設住宅の着工戸数は、持ち家が毎年70戸以上余りの状況となっている。他方、貸家は大きなばらつきがあり、近年では、平成18年と平成20年に50戸以上まとめて着工されている。分譲住宅及び給与住宅の着工数は、ほとんどない。

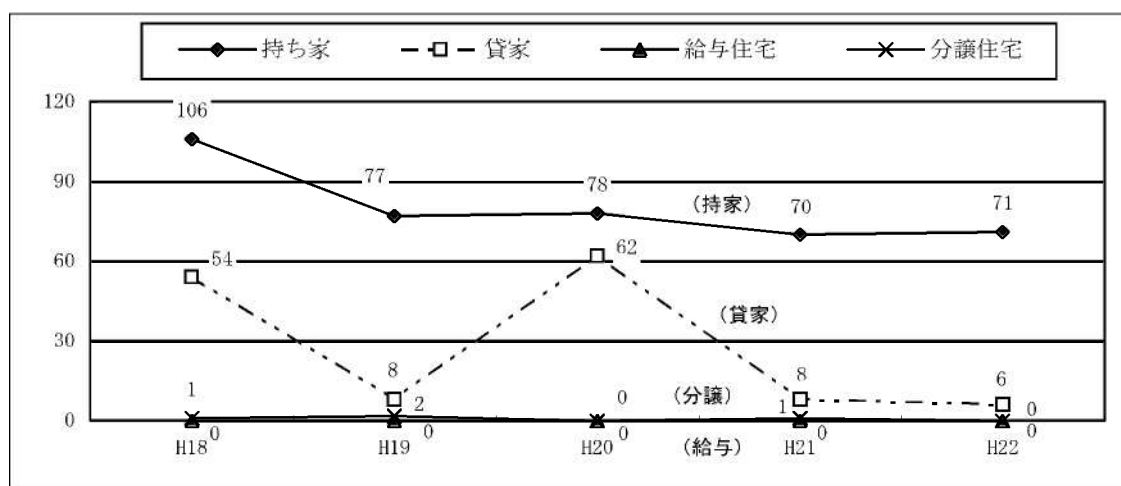
#### □利用関係別新設住宅着工戸数の推移

年度	総数	持ち家	貸家	給与住宅	分譲住宅
H18	161 戸	106	54	0	1
H19	87 戸	77	8	0	2
H20	140 戸	78	62	0	0
H21	79 戸	70	8	0	1
H22	77 戸	71	6	0	0

県建築住宅課調査

各年4月～翌3月までの期間

#### □新設住宅着工件数の推移グラフ



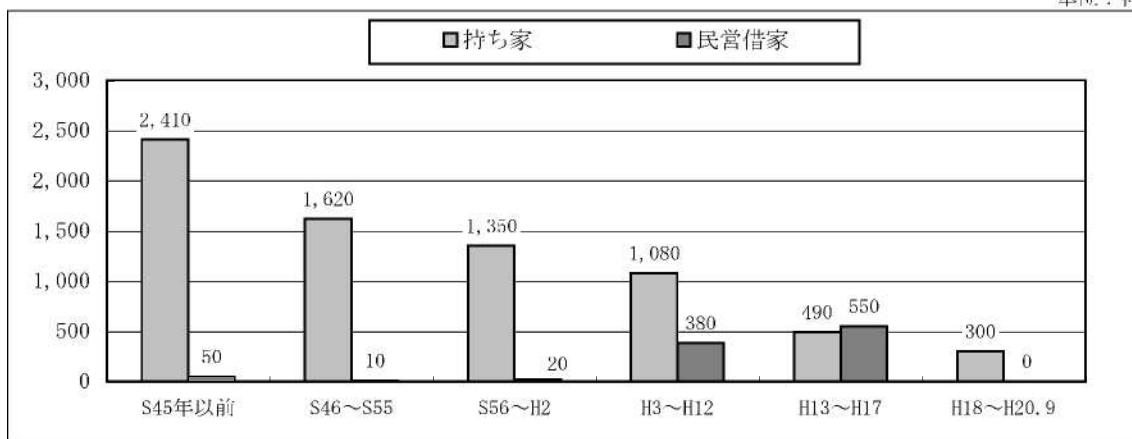
### ⑦所有関係別建築時期

昭和56年（新耐震基準制定）以前の建物は、民営借家ではわずか5.9%であるのに対し、持ち家で半数を超える55.6%となっており、耐震性が十分でないと考えられる持ち家住宅が多くある。

建築時期	経過年数	持ち家		民営借家		備考
		軒数	割合	軒数	割合	
S45年以前	41年以上	2,410	55.6%	50	5.9%	新耐震基準制定前
S46～S55	31～40年	1,620		10		
S56～H2	21～30年	1,350	18.6%	20	2.0%	新耐震基準制定後
H3～H12	11～20年	1,080	14.9%	380	37.6%	
H13～H17	6～10年	490	6.8%	550	54.5%	
H18～H20.9	3～5年	300	4.1%	0	0.0%	
計		7,250	100.0%	1,010	100.0%	-

H20住宅・土地統計調査（建築時期「不詳」を除く）

単位：軒



### ⑧省エネルギー設備等の状況

太陽熱や太陽光利用の省エネ対応住宅は、極めて少ない状況となっている。

他方、開口部の断熱性能を高める二重サッシ等の設備状況では、「なし」が持ち家で約半数の51. %、借家で72.2%となっている。

単位：戸

	総数	太陽熱利用温水器等		太陽光発電機器		二重サッシ又は複層ガラス窓		
		あり	なし	あり	なし	全ての窓にあり	一部の窓にあり	なし
持ち家	7,260	170	7,080	70	7,190	880	2,630	3,740
	割合	2.3%	97.7%	1.0%	99.0%	12.1%	36.3%	51.6%
借家	1,070	10	1,060	0	1,070	250	50	780
	割合	0.9%	99.1%	0.0%	100.0%	23.1%	4.6%	72.2%

H20住宅・土地統計調査

### ⑨宅地開発の状況

入善町民間宅地開発事業補助金交付事業の対象となった最近10年間の宅地開発の状況は、下表の通りとなっている。すなわち、年度毎の変動が激しく、平成14年にまとまった供給がなされた以降、平成18年、平成20年と平成21年に供給されているものの、その間の供給はない。

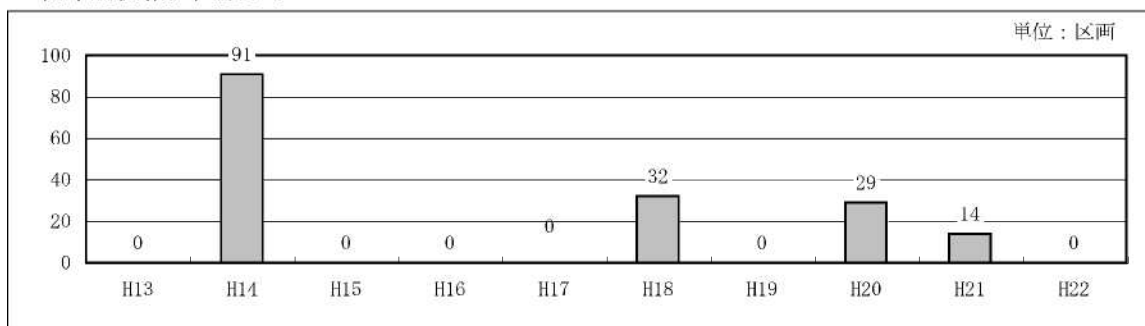
□民間宅地開発の状況（開発許可による区画数）

単位：区画

地区	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	計
1 入 善		52				18			14		84
2 上 原											0
3 青 木											0
4 飯 野						14					14
5 小 摺 戸											0
6 新 屋											0
7 柵 山		39						29			68
8 横 山											0
9 舟 見											0
10 野 中											0
合計	0	91	0	0	0	32	0	29	14	0	166

□経年別供給区画数グラフ

町資料



### ⑩用途地域内の土地利用状況

用途地域内における区分毎の面積は以下の通りで、宅地の占める割合が55%、農地13.7%、その他空地が6.2%等となっている。

単位：ha、%

	自然的土地利用				都市的土地利用						計
	農地	山林	水面その他自然	小計	宅地	公共公益	道路	交通	その他空地	小計	
面積	32.2	0.0	2.0	34.2	128.9	24.2	30.1	2.6	14.5	200.3	234.5
構成比	13.7%	0.0%	0.9%	14.6%	55.0%	10.3%	12.8%	1.1%	6.2%	85.4%	100.0%

1119年度入善町都市計画基礎調査

## ⑪民間賃貸住宅の状況

民間賃貸住宅の供給状況は、以下のようになっている。

(資料は、平成23年4月1日時点の町建設下水道課調査による)

### ア 近年の供給状況

単位：戸

過去5年間の全体供給量は多くないものの、平成20年度までは年間20戸以上供給されていた。

しかし、ここ2年間はほとんど供給されていない。

年 度	供給戸数	備考
H18年度	40	
H19年度	30	建築基準法改正
H20年度	22	
H21年度	8	
H22年度	0	
計	100	—

町資料

### イ 地区別供給状況

単位：箇所・棟・戸

地区別では、入善と上原地区に多く供給されており、全体の約67%となっている。

ついで柵山、飯野、青木地区となっており、いずれも市街地に近い平坦部である。

地 区	箇所数	棟数	戸数	戸数割合
入善	16	25	155	32.4%
上原	12	21	164	34.3%
柵山	3	7	65	13.6%
青木	1	8	32	6.7%
飯野	3	3	62	13.0%
計	35	64	478	100.0%

町資料

### ウ 型別供給状況

単位：戸

型別供給の状況は、1・2寝室タイプがそれぞれ全体の約43%、この中で最も多いのが2DKタイプとなっている。

3寝室タイプは、全体の10%強となっている。

住戸型式	戸数	割合	備考	
1K	32	6.7%	1寝室タイプ	
1DK	46	9.6%		
LDK	57	11.9%		
1LDK	73	15.3%		
2DK	152	31.8%	43.5%	2寝室タイプ
2LDK	56	11.7%		
3DK	38	7.9%	11.7%	3寝室タイプ
3LDK	18	3.8%		
不明	6	1.3%	—	—
計	478	100.0%		

町資料



## ⑫空き家の状況

平成15年及び平成20年の住宅・土地統計調査によると、本町の空き家数及び空き家率とも、増加している。空き家は平成20年で970戸で、空き家率は11.7%となっている。これは、富山県平均よりやや少ない状況となっている。

また、空き家のうち概ね約3割が「腐朽・破損あり」とされており（平成20年住宅・土地統計調査）、本町において利活用が期待されるものを含む空き家は、970戸の内の約680戸程度と推測される。

### □住宅種別空き家数の推移

単位：戸

	H15年		H20年	
	入善町	富山県	入善町	富山県
住宅総数	9,240	407,700	9,300	424,300
空き家数	820	47,300	970	52,200
専用住宅	-	-	940	50,300
店舗その他	-	-	30	1,800
空家率	8.9%	11.6%	10.4%	12.3%

住宅・土地統計調査 ※調査上、合計数値が合わないものがある。

## ⑬住宅・住環境関連の都市計画の概要

本町には、地区計画、建築協定、緑化協定等の都市計画は定められていない。

⑬その他居住関連施設

ア 雇用促進住宅

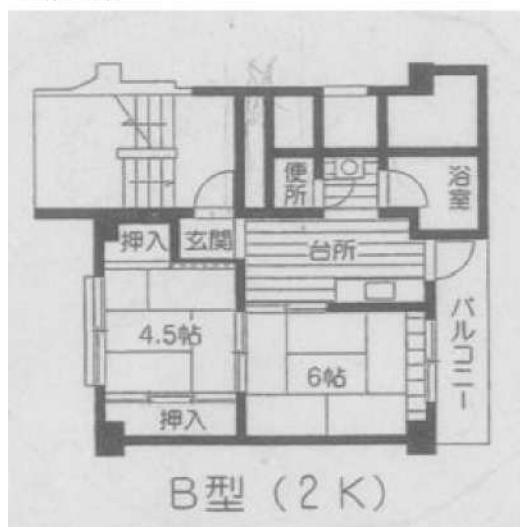
本町内に2ヵ所雇用促進住宅がある。このうち、入善宿舎（上原地区）の活用が町に要請されている。

単位：棟・戸

地区	住宅名	棟数	戸数	建設年度	構造階数	住戸形式	経過年数	備考
上原	入善	2	79	S48	鉄筋コンクリート造 5階建	B型（2K）	38年	入居停止中
柵山	くぬぎやま	2	80	H3	鉄筋コンクリート造 5階建	E型（3DK）	20年	
計	—	4	159	—		—	—	—

□住戸平面図

入善宿舎



くぬぎやま宿舎



□外観写真

入善宿舎



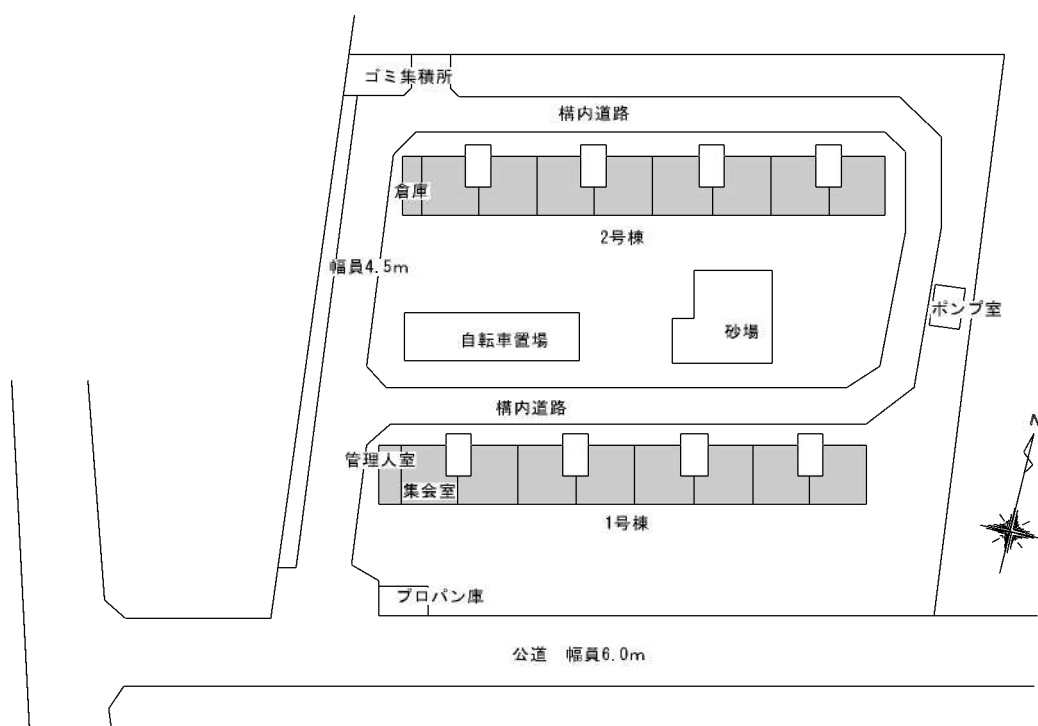
くぬぎやま宿舎



□（参考）雇用促進住宅入善宿舍の概要

- ・住所 入善町上野字八幡11625
- ・敷地面積 3,877.12m<sup>2</sup>
- ・地域地区 第一種中高層住居専用地域
- ・許容建ぺい率 60%
- ・許容容積率 200%
- ・構造階数 鉄筋コンクリート造、地上5階建て
- ・戸数 1号棟：8戸／階×5階－1戸（集会室利用）＝39戸  
2号棟：8戸／階×5階＝40戸  
合計 79戸

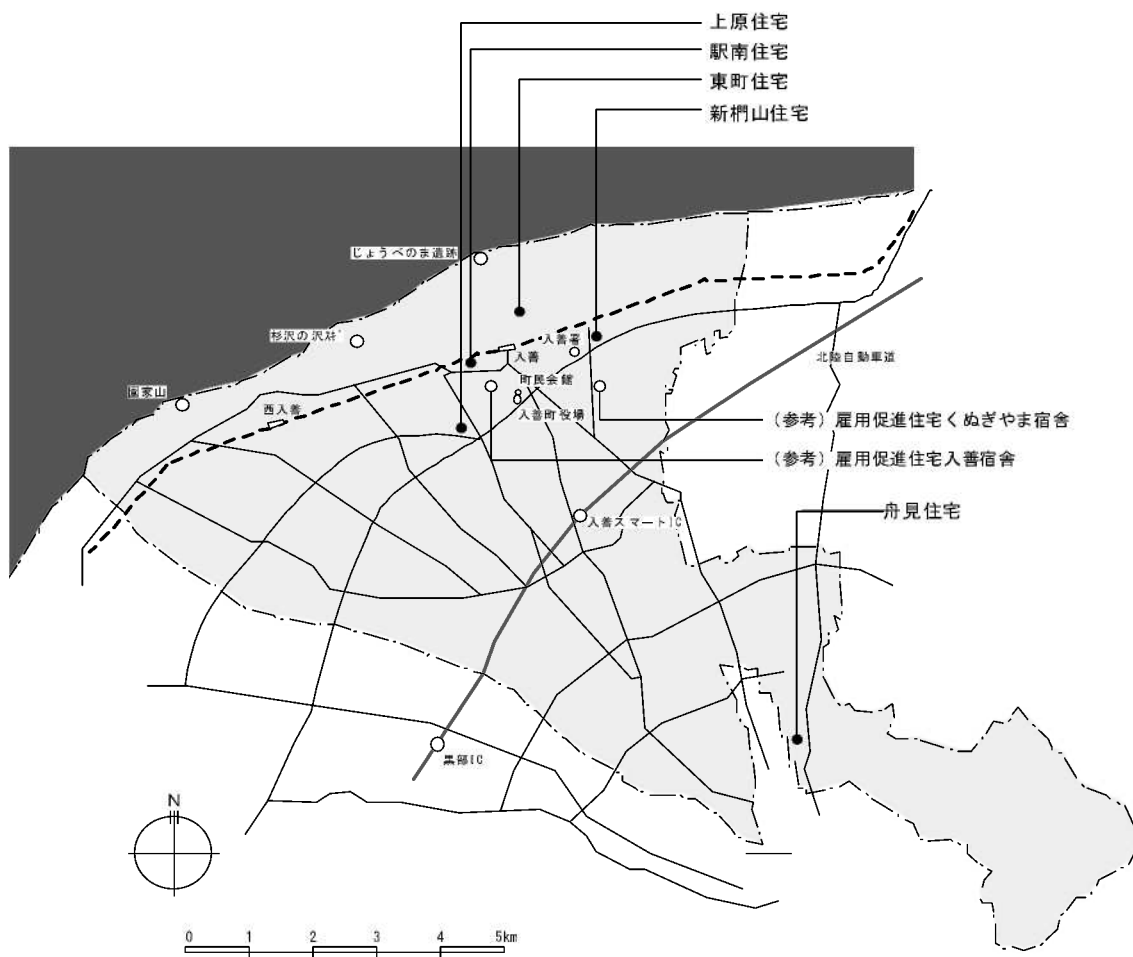
□配置図



### (5) 町営住宅の状況

町営住宅は、入善地区に東町住宅と駅南住宅が、柵山地区に新柵山住宅、舟見地区に舟見住宅、上原地区に上原住宅の計5団地あり、現時点の総管理戸数は263戸となっている。

#### ①町営住宅の位置



②町営住宅一覧表

平成23年4月末時点 単位：戸・階・年

区分	団地名 (地区)	号棟	管理 戸数	建設 年度  (元号)	耐火構造 形式	階 数	構造方式  壁式・ 軸組等	住戸 形式	戸当り 住戸 専用面積 (㎡)	経過年数		
										H23 時点	H33 時点	
公 営 住 宅	東町 (入善)	A	9	H13	耐火構造	3	RCラーメン	2DK	55.7、56.1	10	20	
		B	23	H14	耐火構造	4	RCラーメン	2DK(SH)、2LDK、3DK	56.1～76.6	9	19	
		C	19	H13	耐火構造	3	RCラーメン	1DK、2DK、2LDK、3DK	32.6～69.8	10	20	
		D	16	H15	-	-	1	木造	2DK(SH含む)、3DK	49.2～70.0	8	18
		E	15	H15	-	-	2	木造	2DK、3DK	57.8～70.0	8	18
		計	82	-	-	-	-	-	-	-	-	
	上原 (上原)	1	20	S41	-	-	1	木造	2K	33.12	45	55
		2	20	S43	-	-	1	木造	2K	33.12	43	53
		3	19	S44	-	-	1	木造	2K	33.12	42	52
			計	59	-	-	-	-	-	-	-	-
	舟見 (舟見)	1	10	S47	簡易耐火	-	1	コンクリートパネル	2K	34.00	39	49
		2	10	S48	簡易耐火	-	1	コンクリートパネル	2K	36.52	38	48
			計	20	-	-	-	-	-	-	-	-
	新櫛山 (櫛山)	1	30	S53	簡易耐火	-	2	コンクリートパネル	3K	55.47	33	43
			計	30	-	-	-	-	-	-	-	-
駅南 (入善)	1	18	S56	耐火構造	-	3	RCラーメン	3DK	65.32	30	40	
	2	18	S57	耐火構造	-	3	RCラーメン	3DK	65.32	29	39	
	3	18	S58	耐火構造	-	3	RCラーメン	3DK	65.32	28	38	
	4	12	S59	耐火構造	-	3	RCラーメン	3DK	65.32	27	37	
		計	66	-	-	-	-	-	-	-	-	
	257	小計	257	-	-	-	-	-	-	-	-	
特 定 公 共 賃 貸 住 宅	東町 (入善)	A	6	H13	耐火構造	3	RCラーメン	2DK、3LDK	64.5、85.3	10	20	
			計	6	-	-	-	-	-	-	-	
		小計	6	-	-	-	-	-	-	-	-	
	合計	263	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

---

### ③町営住宅の概況と現況写真

---

#### ○東町住宅（公営82戸、特公賃6戸）

平成11年に策定された再生団地計画に基づき、建替がなされている団地である。なお敷地内に未利用地があることから、町の中核団地として、現在の状況等をよく勘案し将来計画を検討することが求められる。



---

#### ○上原住宅（公営59戸）

木造建築としての耐用年数を超えて、老朽化が著しく、社会資本総合整備計画（平成23年3月）においても建替重点団地に位置付けられており、現在募集停止の措置がとられている団地である。

1haを超えるまとまった敷地面積を有するが、都市計画無指定地域にあり、立地状況を勘案した適切な土地利用が望まれる。



---

#### ○舟見住宅（公営20戸）

簡易耐火建築物として、計画期間内に耐用年数を迎えることとなる古い団地である。

山間地の近くに立地する団地であるので、立地状況やニーズ等を勘案して、今後のあり方を検討することが望まれる。



---

### ○新櫛山住宅（公営30戸）

ショッピングセンターや国道に近い立地条件に恵まれた団地である。一方、老朽化が進んでおり、今後のあり方を検討することが望まれる。



---

### ○駅南住宅（公営66戸）

JR入善駅に近い等、立地条件もよく、新耐震基準後に建設されたことから、計画期間内の適切な維持管理が求められる団地である。



⑤入居者特性（平成23年3月末時点）

ア 入居戸数、空き家、待機世帯

平成23年3月末時点での町営住宅空き家数は46戸であり、全体の17.5%である。

その内、上原住宅の26戸については、老朽化により政策的に募集停止しており、実質の空き家数は20戸である。これは全体の8.7%となっている。

単位：戸・世帯

区分	団地名	管理戸数	入居戸数	空き家	空き家率	備考
公営住宅	東町住宅	82	78	4	4.9%	
	上原住宅	59	33	26	44.1%	募集停止中
	舟見住宅	20	14	6	30.0%	
	新柵山住宅	30	23	7	23.3%	
	駅南住宅	66	66	0	0.0%	
	小計	257	214	43	16.7%	
特定公共賃貸住宅	東町住宅	6	3	3	50.0%	
	小計	6	3	3	50.0%	
合計		263	217	46	17.5%	

町資料

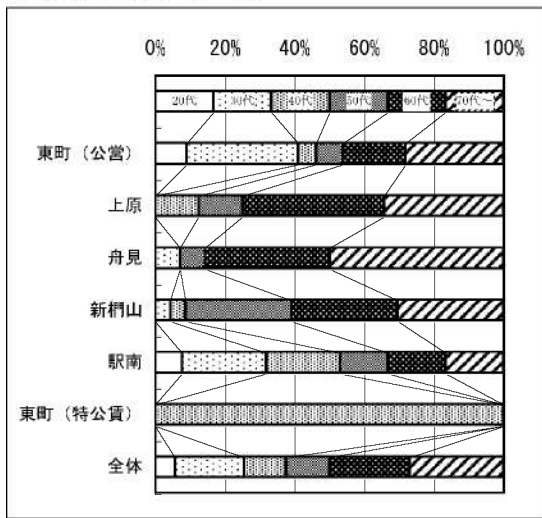


### イ 世帯主の年齢

団地毎にばらつきがある。全体では、60代以上が約半数を占めている。

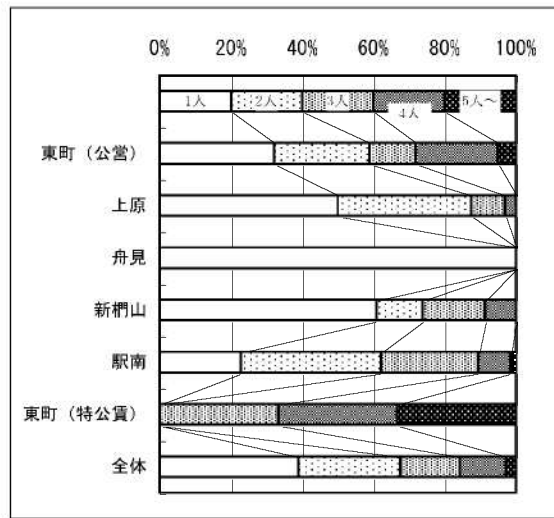
上原、舟見住宅では60代以上の割合が約70%以上と高い。

20代、30代が比較的多いのが、東町、ついで駅南となっている。



### ウ 世帯人員

団地毎にばらつきがあるが、1人世帯が半数以上を占めるのは、上原、舟見、新柵山団地となっている。東町や駅南では2人以上世帯も多い。



### エ 高齢者のいる世帯

高齢者(65歳以上)のいる世帯の割合は、全体で45%となっている。

上原、舟見、新柵山住宅では、ほぼ半数以上の世帯が該当する。

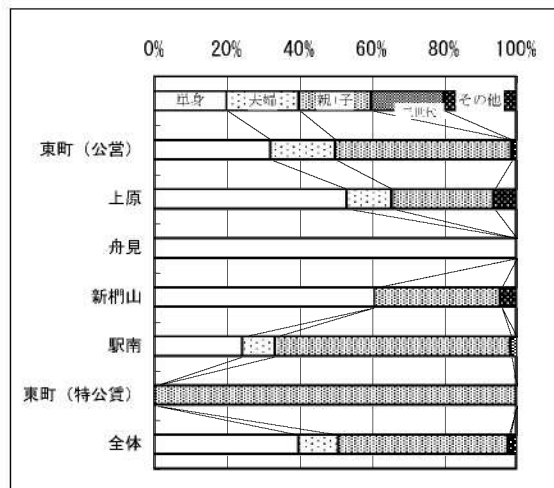
建設年度の古い住宅では、高齢単身世帯が多い。

	入居戸数	いる	高齢世帯のいる割合
東町(公営)	78	32	41.0%
上原	32	20	62.5%
舟見	14	10	71.4%
新柵山	23	11	47.8%
駅南	66	18	27.3%
東町(特公賃)	3	0	0.0%
全体	202	91	45.0%

### オ 家族構成

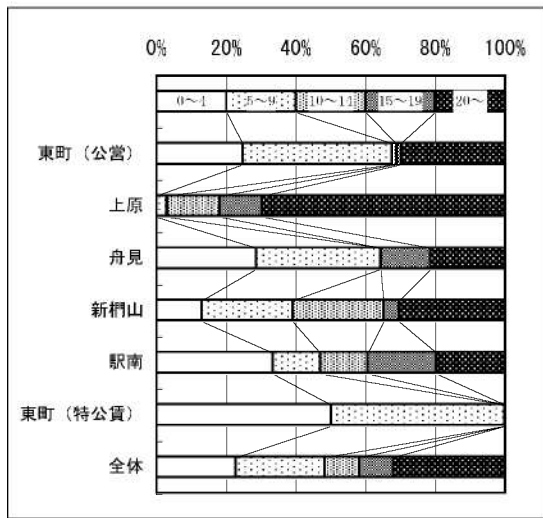
団地毎にばらつきがあるものの、単身世帯、親と子のみの世帯が多いといえる。

舟見住宅は、全世帯単身世帯となっている。



### カ 居住年数

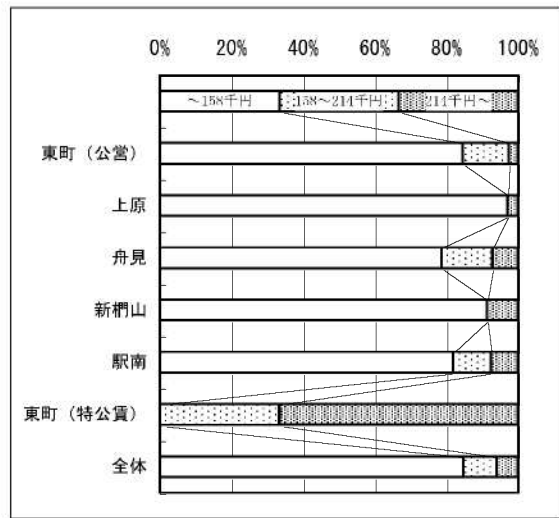
全体では、10年以上の世帯が半数以上となっている。上原住宅では、20年以上の長期居住世帯が半数以上と多い。



### キ 世帯政令月収

公営住宅では、ばらつきがあるものの、およそ9割程が158千円以下となっている。

特公賃住宅では、収入分位40%の214千円以上の世帯の割合が多い。



## (6) 有識者意識調査

### ①調査の目的

具体的な計画策定に先立ち、入善町在住の有識者を対象として住宅全般に関して意識調査を行った。これは、入善町民がそれぞれ異なる立場や視点で日頃感じていることを調査することにより、既存資料だけでは把握できない問題点や課題を見つけ出し、今後の住宅施策の方向性を探ることを目的としている。

### ②調査対象者

以下に示す入善町在住の計100人を対象に調査を行った。

区 分	細 区 分	単位：人
		対象数
行 政 関 係	町職員	5
	町議会議員	14
商 工 関 係	商工会	12
農 業 関 係	農業委員会	11
教 育 関 係	P T A	8
福 祉 関 係	社会福祉協議会	10
自 治 会 関 係	自治会	10
婦 人 会	婦人会	10
建 築 関 係	建築士、宅建・建築組合	10
町 営 住 宅 関 係	入居者	10
合 計		100

### ③調査方法

各関係機関の窓口を通じ、配布は平成23年8月中旬、回収は概ね8月下旬を目処として行った。

### ④回収状況

配布数100サンプルに対し、回収数は69サンプルである。(回収率69%)

## ⑤集計結果

アンケートは、住宅施策への関心度及び重要と思われる住宅施策についての2問と自由意見について実施した。

下表は、これらの自由意見を除く地区別集計結果の一覧を示す。

単位：人

※欄の網掛け部分は、回答数の多かった項目

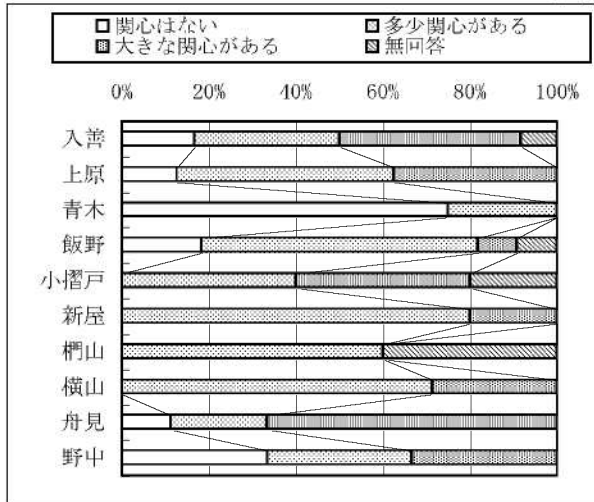
問1 住宅・住環境や住宅施策への関心度	入善	上原	青木	飯野	小樽戸	新屋	柵山	横山	舟見	野中	合計	割合
1 関心はない	2	1	3	2	0	0	0	0	1	1	10	14.5%
2 多少関心がある	4	4	1	7	2	4	3	5	2	1	33	47.8%
3 大きな関心がある	5	3	0	1	2	1	0	2	6	1	21	30.4%
4 無回答	1	0	0	1	1	0	2	0	0	0	5	7.2%
合計	12	8	4	11	5	5	5	7	9	3	69	100.0%
問2 重要と思われる住宅施策	入善	上原	青木	飯野	小樽戸	新屋	柵山	横山	舟見	野中	合計	割合
1 住み良い公的住宅の供給	2	2	0	3	0	0	1	1	2	0	11	5.0%
2 快適な宅地の公的供給	1	2	0	1	0	0	0	3	0	1	8	3.7%
3 高齢者にも住みよい住宅	5	5	3	5	4	2	2	1	6	2	35	16.0%
4 若者定着の魅力ある住宅	5	3	2	5	4	1	3	2	8	1	34	15.5%
5 克雪等安全な住宅	7	3	2	5	1	3	3	2	5	1	32	14.6%
6 入善町らしい個性ある景観	4	3	0	3	1	1	1	3	2	0	18	8.2%
7 省エネや環境との共生	6	1	3	7	2	2	2	5	0	2	30	13.7%
8 住民参加の住宅づくり	1	2	0	2	2	0	3	0	0	0	10	4.6%
9 道路・駐車場などの整備	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	3	1.4%
10 公共交通環境の整備	1	1	1	4	1	1	1	0	2	0	12	5.5%
11 教育・福祉施設等の充実	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	2	0.9%
12 行政の他部門との連携	2	2	0	3	3	2	0	4	2	1	19	8.7%
13 住宅関連地場産業の育成	1	1	1	0	0	2	0	0	0	0	5	2.3%
14 その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
合計	36	26	12	40	18	15	16	21	27	8	219	100.0%

### 問1：住宅・住環境や住宅施策への関心度

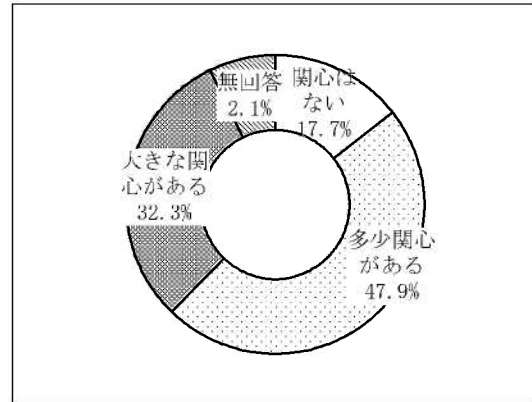
住宅施策の関心度は、「多少関心がある」「大いに関心がある」を含めると、全体の約80%と高い割合となっている。

・地域別集計

N=69



・全体集計

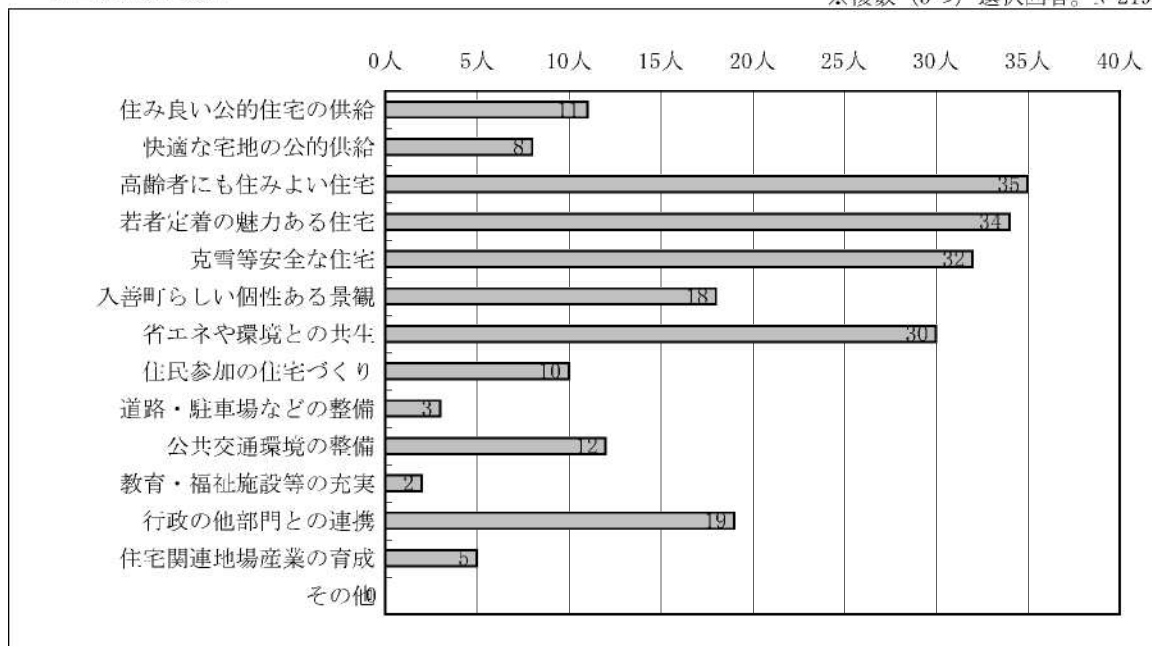


### 問2：重要と思われる住宅施策

重要と思われる施策については、「高齢者にも住みよい住宅」が最も多く、次いで「若者定着の魅力ある住宅」「克雪等安全な住宅」の回答が多かった。地区別に見ると「高齢者にも住みよい住宅」が多いのは入善・上原・飯野・舟見地区、「若者定着の魅力ある住宅」は入善・飯野・舟見、「省エネや環境との共生」は入善・飯野・横山地区がそれぞれ多い回答結果となっている。

・項目別全体集計

※複数 (3つ) 選択回答。N=219



○自由意見の整理

・入善町の住宅施策に対する自由意見を要約し、分野別に整理を行った。

凡例：●印は、複数意見

	人口問題	住宅全般	公的住宅	高齢化	市街地整備・都市施設	環境・景観 他
問題点・課題	・地域の将来は若者定住化と都会からのリターンにかかっており、その施策が急務。(青木)	・空き家が増加傾向だが、所有者が貸し続けない場合が多い。(舟見) ●廃屋となった家が多くあり、防犯・防災上危険。(横山・舟見) ・昔ながらの大きな家は維持が大変、今後はコンパクトで住みやすい住宅が良い。(横山) ・空き地や空き家が増加しているが、もっと活用できないのか。(飯野)  ・地価は近隣市町より安い、住宅を建設する場合は西方面(黒部・魚津・富山)へ流れる。若者の求める住宅を研究すべき。(飯野)	・町営住宅は老朽化しており改善して欲しい。低家賃、バス乗り場、役所が近く便利。(舟見) ・町営住宅(上原・舟見)の方向性、雇用促進住宅の対応が不明。(新屋)	・一人暮らし老人世帯が増加し、庭木や雑草の管理ができず、公害や虫害が課題。(入善) ・運転できない高齢者が生活必需品等の買い物ができる環境整備。(青木)	●公共施設には集会所の駐車場が十分ではない。(入善・上原) ・公民館の利用時間が地区によって異なる。(小摺戸) ・公共施設はもっと地域バランスに配慮を。(舟見) ・夜間、暗い場所が多く、危険を感じる。(入善) ・交差点の見通し確保のため、住宅のセットバックできないか。(上原) ・公共施設を整備する場合、教育や日常生活環境の改善も配慮。(舟見) ・市街地スプロールにより、道路・下水道・保育所・学校等が増加、適切な行政指導を。(新屋) ・町並みの賑わい創出のため、行政と民間による空き店舗の利活用の推進。(上原) ・住宅団地や公的住宅整備には、広い避難路と消雪道路は不可欠。(舟見) ●災害に強い地域づくりとして、津波・洪水対策(地域毎に3階以上の建物整備)(横山・舟見)	●河川等のゴミが増加する等、地区のマナーの低下。(入善) ・農地の中に住宅団地ができ、朝機械作業すると苦情がでて困っている。(飯野) ・町民の意見を聞く機会を作り、町づくりに参加させるべき。(新屋) ・アパートが地域と融和できない場所だと、防犯上・連絡等に不便。(上原) ・少子高齢化対策として、住環境・生活環境面での施策に関心がある。(飯野) ・人口や住宅が増加している反面、住民参加意識や絆が希薄になりつつあり、将来が不安。(横山) ・用排水路の清掃(えざらい)は年々参加者が減少、将来が不安。(横山) ・法律、条例、政策等、住民や専門家と交え、町との協議の場が欲しい。(入善) ・地形を積極的に利用した住環境整備。(横山) ・生け垣等、地域の緑化づくりに助成制度。(横山)
	住宅・住環境に関する提案	●地場産業の発展と共に、若者世帯の定住促進を図る。(上原・飯野) ●若者定住促進策として、税の特例措置、住民税の無償化、親との同居世帯へ設備費助成等。(青木・舟見)	・「使い捨て住宅」から「長期居住・多世代住宅」へ戻す施策。(飯野) ●耐震化、クリーンエネルギー対応、景観性及び医療・交通利便性を備えたモデル住宅地整備。(入善・青木) ・空き家情報の提供と利活用(三世交代の家等)の促進。(上原) ●人口増加のため、若者向けの魅力ある住宅供給と、高齢者が住みよい住宅供給が不可欠。(青木・新屋) ●公共による低価格の宅地供給。(飯野・舟見) ・町全体でバランスの取れた住宅地づくり。(新屋) ・空き家の活用法①震災者受入れ②都会人のセカンドハウス③脱サラ受入れ④持家までの仮住まい(小摺戸) ●豊富な水を利用した冷暖房住宅、屋根雪融雪住宅の推進で、エコタウンづくり。(横山・舟見) ●空家を無くすため、移転する場合は元の住宅を更地にする」という条件を付ける。出来ない場合、町へ譲渡。(入善・横山) ・住宅施策については耐震化と津波対策の推進が重要。(舟見) ・地区人口が減少しており、スーパー農道や広域農道周辺に250戸程度の若者向け住宅。(野中)	●高齢者向けの低家賃で住みやすい公的住宅の整備。(入善・上原・飯野) ・雇用促進住宅を購入し、一時的に若者が住めるように有効活用を。(上原) ●町営住宅は老朽化しており、高齢者や子供達が楽しく住める魅力ある住宅に。(横山・舟見)	・空き家を利用した高齢者グループホーム(共同生活の家)(上原) ●高齢者が助け合いながら自立した生活ができる高齢者アパート整備。(上原・舟見・野中) ・二世帯、三世帯同居に助成措置。(横山) ●老人ホームは待機者ゼロを目指し、特養ホームの増設と施設の充実。(小摺戸・舟見) ・高齢世帯には、耐震診断や改善の助成手続きまでの指導を。(舟見)	●公共交通の充実。(バス増便、停留所の増加、運行時間の延長等)(入善) ・東北地震の教訓を生かし、公共施設は「あり得ない」を想定して計画。(飯野) ●公共施設は小規模多数より、他市町村からも利用する魅力的な施設に。(舟見) ・地域の中で高齢者と若者が共存を目指し、交流できるコミュニティの場が必要。(小摺戸)
まちづくり施策全般に対する提案	・若者定住促進のため、社協を中心とする婚活サポートの実施。(青木) ・少子化問題を改善し、核家族化の見直しを行い、三世帯同居を推進。(舟見) ・農村部における三世帯同居(小摺戸)	・空き家は防犯、防火上危険であり、解体・撤去に助成制度。(飯野) ・農家の空き家が急増、グリーンツーリズムを通して地区の活性化できないか。(野中) ・コンパクトなまちづくりを目指すため、住宅建設立地は制限すべき。(飯野)		・高齢者に配慮した歩行圏内の整備。(買い物、集会場、散歩、医療機関、行政・福祉サービス)(横山・飯野) ・老人福祉施設のバリアフリー改装時、早期介護度の受付ができるように。(舟見) ・高齢者対応として、並行在来線やコミュニティバスの問題も含めて、コンパクトシティーの取り組みも必要。(新屋)		

## 2-3 問題点・課題

### □現状と問題点

#### 上位関連計画より

- 住生活基本法：市場重視、ストック重視、関連施策との連携強化等への政策転換と、居住の安定（セーフティネット）の確保。
- 第6次入善町総合計画：将来像「扇状地に 水と幸せがあふれるまち 入善」
- 入善町都市計画マスタープラン：将来像「扇状地にあふれる地域財産を活かし うるおい・豊かさ・賑わいを感じるまち 入善」

#### 人口・世帯等の現況より

- 人口は減少傾向が続き、世帯数は近年横ばい状況。人口減少率は、山間部に近い地区と横山地区で高い。
- 中心市街地においても人口は減少傾向で、10年間の減少率は町全体よりやや大きい。
- 少子高齢化の進展は県平均より高い割合で推移。平成22年の高齢人口の割合は約28%、年少人口の割合は約12%。
- 高齢者のいる世帯の割合は58.7%（平成22年国勢調査）で、高齢単身世帯、高齢夫婦のみ世帯も増加傾向。
- 市町村間人口移動の状況は、富山市、黒部市、朝日町、魚津市の順に関係が深い。

#### 町の住環境・住文化の現況より

- 黒部川扇状地の広大な平野に広がる田園風景の中の、緑豊かな住環境である。
- 散居村と海岸沿いの集落景観が特徴的である。
- 北国往還の宿場町として栄えた歴史や、有形文化財に指定された発電所美術館等、特徴ある文化的な環境もある。
- 近年、市街地の中央通り整備に合わせた「うるおい館」や、郊外におけるサンウエル等、住民の交流拠点も整備されている。
- 本町の環境を特徴づけるのは、湧水群、農業用水等の「水」である。

#### 住宅・宅地等の現状より

##### 住宅・宅地

- 持ち家率は県平均より高く推移し、86.6%（平成22年国勢調査）となっている。また、民間借家数は増加傾向にある。
- 空き家率は県平均よりやや低く11.7%である。また、住宅土地統計調査では、減少傾向にあるものの970戸の空き家がある。
- 昭和56年（新耐震基準制定）以前の建物が、持ち家で半数以上の55.6%あるが、民間借家では約6%と少ない。
- バリアフリー化対応では、屋内の段差解消住宅割合が約20%、省エネ対応では、持ち家の全ての窓の二重サッシ化率は10%強で不十分な状況である。
- 民間宅地開発は、毎年継続的になされてはならず、年毎にばらつきがある。
- 持ち家の新規着工件数は、近年、毎年70戸余りの状況であるが、借家は大きなばらつきがある。
- 用途地域内土地利用は、農地（田・畑）13.7%、その他空地が6.2%等、低・未利用地の割合が2割近くとなっている。

##### 民間賃貸住宅

- ここ2年間の供給戸数がわずか8戸と、近年の供給は停滞している
- 幹線道路に近い上原、入善、桐山地区に多く供給されている。
- 不動産業者等の空室情報提供者がおらず、希望者の問い合わせ等に応えられていない。

##### 公的賃貸住宅

- 雇用促進住宅が2ヵ所、計159戸ある。上原地区にある人善宿舍は、本町に活用の要請がされている。
- ケアサービス等のついた高齢者向け賃貸住宅である高齢者向け優良賃貸住宅や高齢者専用賃貸住宅は、供給されていない。

##### 町営住宅

- 町営住宅は5団地、管理戸数263戸ある。耐用年数を経過し老朽化が著しい上原住宅、設備等が若者世帯の生活スタイルにそぐわない舟見、新桐山住宅等、約半数ある。
- 募集停止の上原住宅を除くと、老朽化が進む舟見と新桐山に空き家があるものの、他は現在のところ需給バランスがとれている。
- 入居者の状況では、高齢者のいる世帯が全体の45%、家族構成では、単身世帯と親と子の世帯が多い。居住年数では、10年以上の長期入居者が半数以上である。

##### 住意識調査の結果より

- 住宅施策に対する関心度は高く、「高齢者に住みよい住宅」や「若者定着の魅力ある住宅」を望む意見が多い。
- 若者定着を促進するため、施策の充実を望む意見が多い。
- 空き家情報の提供や利活用方法が望まれており、地区活性化施設や高齢者施設等への有効活用の意見が多い。
- 住宅やまちづくり施策面では、高齢者対応や定住促進施策、また市街地活性化や災害対応、風車や水を活かしたエコタウンづくり等、魅力あるまちづくりの提案等多岐にわたっている。

### □課題の整理

#### 人口減少、少子高齢化による地域活力の低下等への対応

- 人口減少、少子高齢化の進展等による地域活力低下、コミュニティ衰退化への対応。
- 若者、子育て世帯の定住促進につながる支援。
- 住まいに関する民間市場の活性化。
- 市街地部の低・未利用地の活用等によるまちなか居住促進と市街地活性化。

#### 地域資源の活用や地球環境問題への対応

- 地域に根ざした住環境、住景観、住文化の形成と創造。
- 建物の長寿命化、省エネ化対応等、環境に優しい住まいづくり促進。
- 空き家を含む住まいの既存ストックの活用や居住水準の向上に向けた取組み。

#### 災害、安全性確保への対応

- 災害等に強い安全性の高い住まい・まちづくりの推進。
- 水害等地域特有の自然災害に強いまちづくりへの備え。
- 耐震性の高い住まいへの改修促進。

#### 福祉居住環境づくりへの対応

- 高齢者向け居住施設の整備促進
- 民間市場での高齢者や子育て世帯が住みやすい住環境の整備促進。
- 町営住宅の住宅セーフティネット機能の役割の拡充。

- ・将来ニーズに基づいた必要な建替えや新規供給計画の検討。
- ・福祉や都市計画等関連施策と連携した町営住宅の整備。
- ・老朽化した町営住宅の建替えや必要な既存ストックの活用。
- ・雇用促進住宅の町営住宅への活用検討。